

# 鳥取県医師会報

MONTHLY JOURNAL OF TOTTORI MEDICAL ASSOCIATION

July 2021  
No.793

7



伯耆古代の丘公園の大賀ハス photo提供者 米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 辻田哲朗先生

## 巻頭言

### 新型コロナウイルスワクチン接種普及への 加速化に積極的な協力を！

## 代議員会

### 公益社団法人鳥取県医師会第205回定例代議員会

## 会員総会

### 中村廣繁鳥取大学医学部長が特別講演

令和3年度鳥取県医師会会員総会

## 病院だより

鳥取大学医学部附属病院

### がんゲノム医療の現状と今後の展望について

### ～鳥取大学医学部附属病院がんゲノム医療センターのご紹介～

## 医の倫理綱領

医学および医療は、病める人の治療はもとより、  
人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、  
医師は責任の重大性を認識し、  
人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。

公益社団法人 日本医師会

## 表紙によせて



### 伯耆古代の丘公園の大賀ハス

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 辻田 哲朗

米子市淀江町にある伯耆古代の丘公園では今が盛りと種々の蓮の花が咲き乱れています。

特に古代蓮と言われる大賀蓮もピンクの大輪を優雅にしかも堂々とした佇まいで咲かせてくれています。

8月1日までは早朝開園となっていますから、是非ご覧になられてください。

## 表紙写真を募集しています

鳥取県医師会会報編集委員会では、会員の皆様から医師会報の表紙を飾る写真を募集しています。

応募要項をご参照の上、ご応募くださいますようお願いいたします。

### 応募要項

1. 鳥取県内を撮影した写真（横サイズ、カラー掲載となります。）  
タイトルをつけてくださいますようお願いいたします。  
※数枚送付の場合は、選定を御一任頂けますようお願い申し上げます。
  2. お顔写真  
※撮影が難しい場合はご相談ください。
  3. 原稿（表紙写真の感想100字程度）
- 以上3点を郵送またはE-mailでご寄稿ください。  
また、掲載時期につきましては編集委員にご一任くださいますようお願いいたします。

### 【応募先】

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会 会報編集委員会 宛て  
TEL (0857)27-5566 FAX (0857)29-1578 E-mail: kouhou@tottori.med.or.jp

# 鳥取県医師会報

## CONTENTS

令和3年7月

### 巻頭言

新型コロナウイルスワクチン接種普及への加速化に積極的な協力を！

理事 太田 匡彦 1

### 代議員会

公益社団法人鳥取県医師会第205回定例代議員会 3

### 会員総会

令和3年度鳥取県医師会会員総会 9

### 理事会

第3回理事会 14

第2回常任理事会 17

### 医学会

令和3年度鳥取県医学会 21

### 中国四国医師会連合

中国四国医師会連合常任委員会 22

### 諸会議報告

新型コロナウイルスワクチン接種にかかる県と医師会との協議会 23

### お知らせ

がん患者等に対する妊孕性温存療法支援事業について 26

「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」研修会のご案内 28

令和3年度『鳥取県糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会』開催要項 29

令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査のご案内 33

### 鳥取県医療勤務環境改善支援センターからのお知らせ

鳥取県医療勤務環境改善支援センター通信 35

### Joy! しろうさぎ通信

第2の人生 倉吉市 おはだのことクリニック 本田 聡子 36

### おしどりネット通信

最新の活動状況

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 (NPO法人おしどりネット 理事長) 辻田 哲朗 37

## 病院だよりー鳥取大学医学部附属病院ー

がんゲノム医療の現状と今後の展望について～鳥取大学医学部附属病院がんゲノム医療センターのご紹介～

鳥取大学医学部附属病院 がんゲノム医療センター長／鳥取大学医学部 消化器・小児外科 教授 藤原 義之 38

## 歌壇・俳壇・柳壇

小ちゃい兄ちゃん 倉吉市 石飛 誠一 41

## フリーエッセイ

大山御羅木 ダイセンキヤラボク 特別養護老人ホーム ゆうらく 細田 庸夫 42

「氷感」と「氷温」ー過冷却保存への挑戦ー（後編）

独立行政法人国立病院機構 米子医療センター 杉谷 篤 43

老健入所者の看取り同意書作成の時期について

介護老人保健施設 ル・サンテリオンよどえ 中下英之助 46

安心な筋肉注射とは 鳥取市 尾崎クリニック 尾崎 行男 47

地図の上に線を引く（34） 上田病院 上田 武郎 48

## 私の一冊・私のシネマ

「だれもが愛しいチャンピオン」監督 ハビエル・フェセル

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 辻田 哲朗 49

## 我が家のペット自慢

7人目の家族～ミニチュアダックスフンドのナナ～

鳥取市 おおたけ脳神経・漢方内科クリニック 大竹 実 50

## 地区医師会報だより

2011.3.11 あれから10年 米子市 たじま医院 但馬 啓子 52

## 東から西からー地区医師会報告

東部医師会 広報委員 松田 裕之 54

中部医師会 広報委員 森廣 敬一 55

西部医師会 広報委員 仲村 広毅 56

鳥取大学医学部医師会 広報委員 原田 省 57

県医・会議メモ 61

会員消息 62

会員数 62

保険医療機関の登録指定、廃止等 63

## 編集後記

編集委員 岡田 隆好 64



## 新型コロナウイルスワクチン接種 普及への加速化に積極的な協力を！

鳥取県医師会 理事 太田 匡彦

新型コロナウイルス感染第1波が過ぎ、第2波の直前にあたる去年の7月号の巻頭言を担当したが、その中で新型コロナウイルス感染透析患者の重症化リスクと高い致死率、有事での透析医療の確保の難しさへの危惧を述べ、第2波への備えを主張させてもらった。現在、第4波に見舞われ、13都道府県に3回目の緊急事態宣言が出され、オリンピック開催に賛否両論の世論の最中でこの原稿を書いている。この原稿が載る頃にはオリンピックが無事に開催され、国内の感染も制御されていることを祈る。飲食店でのクラスター発生を特徴とした第2波（2020年7月～9月）に比べて第3波（2020年11月～2021年2月）は社会活動が活発な比較的若い世代の移動に伴う2次感染が多いといわれる。年末年始の大規模な人の移動に伴い、特に、首都圏、関西圏、中京圏など大都市圏で、第2波を凌駕する急速な感染拡大を起こし、さらにその周辺の地方へ広がった。その結果、2回目の緊急事態宣言が計11都府県に適用された。第2波と第3波の比較では、ピーク時で新規感染者数1,593人对8,045人、10万人あたり新規感染者数7.62人对35.8人と第3波のほうが圧倒的に規模が大きく、高齢者の絶対数も増加したため、第2波より重症化人数、死亡者数も加速度的な増加となった。想定外の大規模の第3波において、初めて医療崩壊が現実的となった地域が出現した。年末年始を中心とした第3波は大規模であるが故、まん延防止措置や緊急事態宣言を適応しても一定の水準以下まで感染は抑制できず、くすぶり続けていた。そこに4月の花見シーズン、5月のGWの人流増加により第4波に見舞われた。第3波で一部の患者で変異株の存在が確認されたが、現在の第4波では、すでに変異株が主流であり、従来型に比べると治癒しにくく、重症化しやすいだけでなく、若年者でも入院治療が長引くケースが目立つといわれる。変異株を主流とした第4波のなかで各地で病床が逼迫し、医療崩壊した地域はさらに増えた。現時点でステージ4以上（病床使用率50%以上）は20道府県におよんでいる。さて、第4波における新型コロナ感染透析患者の全国状況は、6月10日時点で感染者数1,905人、死亡者数311人で約16%の致死率となっている。全体の致死率は約1.8%なので、依然として約9倍の死亡リスクである。第2波と第3波との比較で、第2波で2020年7月17日～8月21日の1か月で新規感染透析患者数82人（死亡者数4名）であったのが、第3波では2020年12月18日～2021年1月22日の1か月で新規感染透析患者数319人（死亡者数33人）と新規感染者数で約4倍、死亡者数で約8倍まで跳ね上がり、重症化リスクの高い透析患者が大規模な第3波の影響をまともに受け、特に上記大都市圏で、透析医療が深刻な状況に陥った。新型コロナ感染透析患者

は重症化リスクにより入院治療が原則とされるが、首都圏、大阪府、愛知県では、入院可能な医療機関の満床が続き、新規感染透析患者は入院可能となるまで自施設での透析を余儀なくされた。この状況を鑑み2021年1月20日に日本透析医会は、新型コロナ感染透析患者の透析医療の確保の提言を行い、入院病床を持っているがまだ受け入れをしていない病院への感染透析患者の受け入れとすでに受け入れをしている病院における増床、および、退院後の維持透析施設への速やかな受け渡しなど切実なお願いをしている。第3波の収束後も新規コロナ感染透析患者数は110人（2021年3月25日～4月15日）と第2波ピーク時より多い水準でくすぶったまま、第4波に突入してしまった。透析医療確保の状況はさらに厳しくなった地域が増えている状況である。幸いにも鳥取県ではそういう状況ではない。経済疲弊、自粛疲れ、変異株の出現などから従来の緊急事態宣言やまん延防止措置といった人流抑制策や生活の行動変容のお願いだけでは、感染制御は困難となっている。いち早く大規模ワクチン接種をしたイスラエル、アメリカ、イギリスなどから続々と感染発症の高い抑制率の報告がされているのはご周知のとおりである。これらの国では集団免疫獲得の基準人口である国民割合70%に今夏～秋に到達できる見込みであるといわれる。また、変異株にも有効とされている。このような状況から、感染拡大抑制のためには、新型コロナウイルスワクチン接種の迅速な全世代への普及が不可欠である。円滑で効率的なワクチン接種スケジュールとその実行が求められる。透析患者および透析医療の特徴から全世代の透析患者のワクチン接種が急がれる。この原稿を書いている時点で、鳥取県の場合、医療従事者はほぼ終了し、優先接種順位により65歳以上高齢者を対象に実施されているが、ほぼ終了のめどがたち、50歳～64歳未満、基礎疾患ありの対象者への接種の準備中にある。6月13日時点まで鳥取県は65歳以上高齢者で1回目接種率46.79%、2回目接種率12.11%といずれも全国平均値を上回り、全国で3番目の高い接種割合である。これは県・地区医師会、病院、診療所の医師を始めとした医療従事者の献身的な協力の賜物と思われる。今後、優先順がすすむにつれて接種対象者数が増えていくと思われるが、基礎疾患あり対象者は、おもにかかりつけ医による個別接種が主体となると思われ、更なる医師、医療従事者の貢献と医療施設での接種体制強化が必要となるであろう。最近、ファイザー製ワクチンの冷蔵保管が『2～8℃で1か月間可能』となり、また、基礎疾患を有するものなど、高齢者の接種完了を待つ必要はなくなり、予約のキャンセル、空き状況を踏まえ、順次、次の接種順位へ進めていよいよになった。かかりつけ医での個別接種のいっそうの効率化と安定化への後押しになると考えられる。昨今、日本医師会に対してネガティブなニュース報道もあり、批判的な声も聞かれるが、地方では、地域住民へ幅広く円滑にワクチン接種を普及させるために、県・地区医師会を中心に献身的に尽力していくことが重要ではなかろうか。おそらく、この原稿が載る頃には、大規模職域接種も始まっており、基礎疾患ありの接種も本格化していると思われる。スピード勝負となってきた感があるが、県内の新型コロナワクチン接種の加速化に向けて、さらなる医師、医療従事者の積極的な協力が求められる。

## 公益社団法人鳥取県医師会第205回定例代議員会

■ 開催の期日	令和3年6月19日（土） 午後4時10分～午後4時55分
■ 開催の場所	鳥取県医師会館 鳥取市戎町
■ 代議員総数	49名
■ 出席代議員数	47名（議決権数47個）
■ 出席の役員等	渡辺会長、清水・小林両副会長 明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事 太田・秋藤・松田・岡田・廣岡・永島・來間各理事 新田・山崎両監事 入江・魚谷両顧問

### 報告事項

- （1）令和2年度公益社団法人鳥取県医師会事業報告
- （2）令和3年度公益社団法人鳥取県医師会事業計画
- （3）令和3年度公益社団法人鳥取県医師会収支予算

### 決議事項

次の4議案について原案どおり可決された。

- 第1号議案 令和2年度公益社団法人鳥取県医師会決算の承認について
- 第2号議案 令和2年度公益社団法人鳥取県医師会会費減免申請の承認について
- 第3号議案 令和3年度公益社団法人鳥取県医師会会費減免申請の承認について
- 第4号議案 令和4年度公益社団法人鳥取県医師会会費及び負担金の賦課徴収について

### 会議の状況

〈松浦議長〉

それでは定刻になりましたので、ただいまから公益社団法人鳥取県医師会第205回定例代議員会を開会いたします。まず、事務局より資格確認をお願いいたします。



〈谷口事務局長〉

事務局長の谷口です。資格確認のご報告をいたします。本日受付でお配りしました出席者名簿をご覧ください。代議員の総数は49名でございます。これに対しまして、本日受付されました代議員の先生は47名で、過半数の出席でございます。以上、ご報告いたします。

〈松浦議長〉

ありがとうございました。報告のとおり、過半数の出席ですので、本会議は成立いたします。

次に、議事録署名人の選出ですが、議長が指名いたします。

27番・福嶋寛子代議員、47番・森 英俊代議員のお二方を指名します。

それでは、日程に従いまして、「会長挨拶」をお願いいたします。渡辺会長、よろしくお願いいたします。

〈渡辺会長〉

皆様こんにちは、会長の渡辺でございます。

本日は、鳥取県医師会第205回定例代議員会にご参集いただき、ありがとうございます。

ご承知のとおり、新型コロナウイルス感染症の拡大の第4波の最中にありますが、全国の10都道府県に出されていた緊急事態宣言は明日までで沖縄を除く9都道府県において解除され、まん延防止等重点措置に7都道府県が移行し、岡山県、広島県においては感染者の順調な減少から、そのまま重点措置を経ることなく宣言が解除される見通しです。第4波の多くは $\alpha$ 変異株と言われ、当県でも5月に急激な感染拡大がみられましたが、幸い、6月1日から昨日まで18日間、新たな感染者が出ておりません。このような経過から、本日の代議員会は感染防止対策を十分に講じた上で、参集での開催とさせていただきます。

本日の主な議題は、令和2年度の事業報告、収支決算の承認等であります。詳細につきましては、後ほど、担当役員がご説明申し上げます。なお、公益社団法人におきましては、決算の承認を



得ることが代議員会の最重要事項となっておりますので、慎重審議の上、何卒ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

また、代議員会終了後には各種表彰、特別講演等の会員総会を開催します。

最後までお付き合いいただきますよう重ねてお願い申し上げまして、簡単ではありますが時間がありませんので、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

〈松浦議長〉

渡辺会長、ありがとうございました。引き続きまして、5番の「報告」に入ります。なお、本件は報告ですので、採決はいたしません。

報告(1)「令和2年度公益社団法人鳥取県医師会事業報告」について説明をお願いいたします。執行部より清水副会長、よろしくお願いいたします。

〈清水副会長〉

副会長の清水でございます。令和2年度の事業報告をさせていただきます。なお、本事業報告は、6月3日に開催されました「第3回理事会」におきまして承認されており、既に県医師会のホームページに掲載しております。

それでは本日も持参いただいている冊子「令和2年度鳥取県医師会事業報告」の1頁をご覧ください。

令和3年3月末日の本会会員数は1,416名で、前年同期に比べて14名の増です。内訳としては、A1会員が413名、A2会員が20名、B会員が983名で、このうち、会費免除会員は133名です。これを地区別に見ますと、東部574名、中部228名、西





部550名、大学64名でございます。

次に、物故されました会員ですが、81頁をご覧ください。令和2年4月1日より本年3月末日に至る間に物故されました先生は、松本 真先生、近藤 務先生、佃 進先生、北室文昭先生、松田 伸先生、中村克己先生、村尾ちさと先生、前田宏仁先生、山藤輝彦先生、深澤義明先生、飯塚幹夫先生、瀧田賀久也先生の12名です。

その後、本日までに、大石 徹先生がお亡くなりになられております。

ここで、松浦議長にお願いがございます。物故されました先生方の生前のご功績をたたえ、黙祷を捧げ、心よりご冥福をお祈りいたしたいと思っておりますので、よろしく取り計らいの程、お願い申し上げます。

〈松浦議長〉

ただいま、ご提案がございましたように、物故されました先生方のご冥福を祈り、黙祷を捧げたいと思います。全員ご起立をお願いいたします。

黙祷はじめ。

黙祷終わり。ありがとうございました。お直りください。

それでは、引き続き、事業報告をお願いいたします。

〈清水副会長〉

事業報告を続けます。

[以下、令和2年度事業報告に基づき説明]

以上で、事業報告を終わります。

〈松浦議長〉

清水副会長、ありがとうございました。以上で、事業報告は終了しました。

続きまして、報告(2)「令和3年度公益社団法人鳥取県医師会事業計画」についてご説明をお願いいたします。執行部より小林副会長、よろしくをお願いいたします。

〈小林副会長〉

副会長の小林でございます。定款第24条2項の規定によりますと、代議員会の任務として、会長は事業計画書と収支予算書を代議員会に報告する



ことが定められていますので、会長に代わって私から事業計画書についてご報告いたします。

なお、説明します事業計画書については、去る3月18日開催の第14回理事会におきまして、既に承認されていることを申し添えます。

主に、新しい箇所を中心にご説明いたします。事業項目は、定款に定めています事業項目の順に掲載しております。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、日本医師会並びに全国・中四国の会議、県内の諸会議等がWeb会議中心になっています。それでは、議案書5頁をお開き下さい。

[資料「議案書」を説明]

以上、簡単ではございますが、事業計画の説明を終わります。

〈松浦議長〉

小林副会長、ありがとうございました。以上で、令和3年度事業計画の説明は終了しました。

なお、先程の渡辺会長の挨拶のほか、報告事項等に関する質疑は、後程まとめて行いますので、ご了承ください。

続きまして、報告(3)「令和3年度公益社団法人鳥取県医師会収支予算」についてご説明をお願いいたします。執行部より瀬川常任理事、よろしくをお願いいたします。

〈瀬川常任理事〉

会計を担当しております瀬川です。それでは、令和3年度鳥取県医師会一般会計並びにその他の3つの会計の予算に関しまして報告いたします。



なお、この収支予算に関しては、先程の令和3年度事業計画と同様に、去る3月18日に開催されました第14回理事会におきまして決議され、承認されていることを先に申し添えておきます。

[資料「議案書」を説明]

以上です。

〈松浦議長〉

瀬川常任理事、ありがとうございます。以上で「報告」を終了いたします。

引き続きまして、6番の「議事」に入ります。

第1号議案『令和2年度公益社団法人鳥取県医師会決算の承認について』を上程いたします。執行部のご説明をお願いいたします。瀬川常任理事、よろしくお願いいたします。

〈瀬川常任理事〉

会計担当の瀬川です。それでは、議案書47頁をご覧ください。

[資料「議案書」を説明]

以上です。

〈松浦議長〉

瀬川常任理事、ありがとうございます。ここで、審議の前に監事から監査報告をお願いします。新田監事、よろしくお願いいたします。

〈新田監事〉

監事の新田でございます。去る6月3日、山崎監事と共に県医師会館におきまして監査を行いましたので、その結果を報告いたします。

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度における公益社団法人鳥取県医師会の業務及び財産の状況について、一般社団法人及び一



般財団法人に関する法律第99条及び定款第64条に基づいて監査を行いました。

#### 1. 監事の監査の方法及びその内容

(1) 我々監事は、理事会、監事会及びその他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討いたしました。

(2) 我々監事は、財産の状況について理事及び使用人等から報告を受け、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の正確性を検討いたしました。

#### 2. 監査意見

(1) 計算書類、附属明細書及び財産目録は、法令及び定款に従い、公益社団法人鳥取県医師会の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(2) 事業報告は、法令及び定款に従い、公益社団法人鳥取県医師会の状況を正しく示しているものと認めます。

(3) 理事の業務執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上です。

〈松浦議長〉

新田監事、ありがとうございます。ここで、決算に関する質問の他、先程の事業報告並びに事業計画、渡辺会長の挨拶等、事業全般についての

質疑を行います。

昨日までにあらかじめ質問は届いておりませんが、この場でご質問のある方は、挙手の上、議事録作成のために、「議席番号」と「お名前」をお願いいたします。

それでは、ないようですので、議案に対する採決を行います。

第1号議案に対しまして、賛成の方の挙手をお願いいたします。

[全員挙手]

「全員挙手」と認めます。よって、第1号議案に対して承認を与えることに可決いたしました。

〈松浦議長〉

続きまして、第2号議案『令和2年度公益社団法人鳥取県医師会会費減免申請の承認について』、第3号議案『令和3年度公益社団法人鳥取県医師会会費減免申請の承認について』を一括上程いたします。執行部のご説明をお願いします。瀬川常任理事、よろしくをお願いいたします。

〈瀬川常任理事〉

それでは、議案書87頁をご覧ください。

[資料「議案書」を説明]

以上です。

〈松浦議長〉

瀬川常任理事、ありがとうございました。ただいまのご説明について、何かご質問はございませんか。

ないようですので、採決に移ります。

第2号議案及び第3号議案に対しまして、賛成の方の挙手をお願いいたします。

[全員挙手]

「全員挙手」と認めます。よって、第2号議案及び第3号議案に対して承認を与えることに可決いたしました。

続きまして、第4号議案『令和4年度公益社団法人鳥取県医師会会費及び負担金の賦課徴収について』を上程いたします。執行部のご説明をお願いします。引き続き、瀬川常任理事、よろしくをお願いいたします。

〈瀬川常任理事〉

それでは、議案書95頁をご覧ください。

[資料「議案書」を説明]

以上です。

〈松浦議長〉

瀬川常任理事、ありがとうございました。ただいまのご説明について、ご質問はございませんか。

ないようですので、採決に移ります。

第4号議案に対しまして、賛成の方の挙手をお願いいたします。

[全員挙手]

「全員挙手」と認めます。よって、第4号議案に対して承認を与えることに可決いたしました。

〈松浦議長〉

以上をもちまして、議事は終了いたします。それでは、閉会にあたりまして、渡辺会長からご挨拶をお願いいたします。

〈渡辺会長〉

松浦議長におかれましては、円滑な議事進行をありがとうございました。代議員の先生方は、お疲れ様でした。

上程いたしました、第1号議案から第4号議案までの4つの議案を全て原案どおり承認を賜り、誠にありがとうございました。

以上で、代議員会を閉会させていただきますが、この後、会員総会を行いますので、引き続きご出席いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



〈松浦議長〉

ありがとうございました。

これで、本日の議事はすべて終了いたしました。以上をもちまして、公益社団法人鳥取県医師

会第205回定例代議員会を閉会いたします。本日は、ありがとうございました。

〔拍手〕

〔午後4時55分閉会〕

## 鳥取県医療勤務環境改善支援センターのご案内 (鳥取県、鳥取労働局委託事業)

当センターには担当職員と医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士)が常駐し、医療機関の皆様からのご相談を受け付けています。また、必要に応じて医業経営コンサルタントなど専門のアドバイザーが医療機関へ出向く訪問支援も行っています。PDCAサイクルを活用した医療機関の勤務環境改善支援、講師派遣、勤務環境改善に関する調査や情報提供等も行っています。

まずはお気軽にお問合せください。ご利用は無料です。

〒680-0055

鳥取市戎町317番地 鳥取県医師会館内

鳥取県医療勤務環境改善支援センター

(略称：勤改センター)

【TEL】0857-29-0060 【FAX】0857-29-1578

【受付時間】午前9時～午後5時(土・日・祝を除く)

【MAIL】kinmukaizen-c@tottori.med.or.jp

【HP】<https://www.tottori.med.or.jp/kinmukaizen-c/>

### ◆相談例◆

働き方・休み方の改善

- 多職種の役割分担・連携(チーム医療推進)
- 勤務シフトの工夫、短時間正職員の導入
- 子育て中・介護中の者に対する残業免除

働きやすさ・働きがい確保のための環境整備

- 休暇取得促進
- 患者からの暴力・ハラスメントへの組織的対応
- 医療スタッフのキャリア形成支援 など

安心して働ける  
快適な職場作りを支援いたします



## 令和3年度鳥取県医師会会員総会

- 開催の期日 令和3年6月19日（土） 午後5時～午後6時30分
- 開催の場所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町
- 出席者数 70名
- 出席の役員等 渡辺会長、清水・小林両副会長  
明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事  
太田・秋藤・松田・岡田・廣岡・永島・來間各理事  
新田・山崎両監事  
入江・魚谷両顧問

開 会 明穂常任理事

### 会長挨拶

〈渡辺会長〉

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、鳥取県医師会会長の渡辺でございます。

本日は、週末でお忙しいなか、また、新型コロナウイルス感染症への診療ならびにワクチン接種等で大変ななか、多くの会員の先生方にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、代議員の先生方におかれては、引き続き、ご出席を賜り、感謝申し上げます。

本日の日程は、お手元に式次第を配付していますが、「白寿・米寿・喜寿の御祝い」「会員として満50年以上医業従事者の表彰」「永年役員の表彰」「鳥取医学賞並びに鳥取医学雑誌新人優秀論文賞の授与」、その後、鳥取医学賞受賞講演と鳥取医



学雑誌新人優秀論文賞受賞の講演があります。

さらに、特別講演には、この度、鳥取大学医学部長に就任されました本日も代議員としてご出席の中村廣繁先生より、『継往開来！創立75周年鳥取大学医学部は次のステージへ』と題してご講演をいただきます。何卒よろしくご清聴賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単でございますが、開会の挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

## 表 彰

〈当日の出席者〉

米寿：伊藤文利先生

喜寿：田村矩章先生

永年役員：根津 勝先生

第30回鳥取医学賞：

大石正博先生、孝田雅彦先生

鳥取医学雑誌第8回新人優秀論文賞：

小林裕貴子先生

謝辞：表彰式終了後、伊藤文利先生より謝辞があった。



### 第30回鳥取医学賞受賞講演

廣岡理事（鳥取医学雑誌編集委員会委員長）が座長を務め、次のとおり、鳥取医学賞受賞講演が行われた。

受賞対象論文は次の通り

（1）鳥取医学雑誌（第48巻・令和2年発行）へ投稿

【3・4号】「系統的切除は組織学的脈管侵襲陽性（vp1）の肝細胞癌の予後を改善できるか」

演題：肝細胞癌に対する系統的切除

講師：鳥取市立病院 院長（外科）

大石正博先生



（2）鳥取医学雑誌（第48巻・令和2年発行）へ投稿

【3・4号】「鳥取県の肝臓がん対策と発見肝臓がんの検討」

演題：鳥取県の肝臓がん対策と発見肝臓がんの検討

講師：日野病院 院長(内科) 孝田雅彦先生



### 第8回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞受賞講演

廣岡理事（鳥取医学雑誌編集委員会委員長）が座長を務め、次のとおり、鳥取医学雑誌新人優秀論文賞受賞講演が行われた。

受賞対象論文は次の通り

鳥取医学雑誌（第48巻・令和2年発行）へ投稿

【1・2号】「当院における乳幼児RSウイルスとヒトメタニューモウイルス下気道感染症入院症例の比較検討」

演題：鳥取県立厚生病院における乳幼児RSウイルスとヒトメタニューモウイルス下気道感染症入院症例の比較検討

講師：鳥取市立病院小児科 小林裕貴子先生



## 特別講演

渡辺会長が座長を務め、次のとおり、特別講演が行われた。

演題：継往開来！創立75周年 鳥取大学医学部  
は次のステージへ

講師：鳥取大学医学部長 中村廣繁先生



閉会

[閉会：午後6時30分]

## 第30回鳥取医学賞

『系統的切除は組織学的脈管侵襲陽性（vp1）の肝細胞癌の予後を改善できるか』 大石正博

『鳥取県の肝臓がん対策と発見肝臓がんの検討』 孝田雅彦

## 第8回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞

『当院における乳幼児RSウイルスとヒトメタニューモウイルス下気道感染症入院症例の比較検討』 小林裕貴子

理事 廣岡保明

第30回鳥取医学賞に、（1）鳥取市立病院・外科（院長）の大石正博先生論文「系統的切除は組織学的脈管侵襲陽性（vp1）の肝細胞癌の予後を改善できるか」および、（2）日野病院・内科（院長）の孝田雅彦先生論文「鳥取県の肝臓がん対策と発見肝臓がんの検討」が採択された。

（1）大石先生の論文は、鳥取医学雑誌VOL. 48, No.3・4, 2020に掲載されたもので、1994年～2014年に鳥取市立病院で手術された腫瘍径3cm以下で腫瘍個数3個以内の肝細胞癌81例を対象に、予後不良因子の解明と、その予後不良因子症例に対して系統的肝切除を行うことで予後が改善するかどうかを検証した論文である。対象となった肝細胞癌の5年無再発生存率は41.9%で、単変量解析の結果、組織学的門脈侵襲要請（vp1）が唯一の予後不良因子であることが判

明した。また、vp1症例で系統的肝切除を行った症例は、非系統的肝切除を行った症例より予後が改善された。ただし、非系統的肝切除症例は系統的肝切除症例より肝予備能不良症例が多かった。

以上より、小肝細胞癌切除症例の最も強力な予後不良因子はvp1であり、vp1症例に系統的肝切除を施行することで予後は改善されたが、症例の選択においてバイアスがあることより、その解釈は慎重にならないといけない、と結論している。

### 【大石正博先生の略歴】

昭和62年3月 岡山大学医学部卒業

同年 4月 岡山大学第一外科（消化器外科）  
入局

平成8年 岡山大学病院 勤務  
平成11年 鳥取市立病院 勤務 現在に至る

病態内科学 助教授  
平成28年 日野病院組合日野病院 病院長 勤務  
現在に至る

(2) 孝田先生の論文は、鳥取医学雑誌VOL. 48, No.3・4, 2020に掲載されたもので、鳥取県健康対策協議会（鳥取県、鳥取大学、鳥取県医師会が協働）に設置した肝臓がん対策専門委員会が中心となり、1995年～2018年に行われた肝臓がん検診の有効性について検証した論文である。1995年からの肝炎ウイルス検診で拾い上げたウイルス陽性者7324人に精密検査を行い、そこで発見された肝臓がん（検診発見がん）は31例であったが、その後ウイルス陽性者を年1回定期検査の受診勧奨を行って発見された肝臓がん（定期検診発見がん）は168例であった。この2群を比較すると定期健診発見がんは検診発見がんより、小型で累積生存率は有意に良好であることが判明した。

以上より、拾い上げた肝炎ウイルス陽性者に定期健診の受診勧奨を行う事が重要あるが、定期検診受診率は50.2%といまだ充分ではないことより、受診率の向上、サーベイランス法の改善を図る必要があると結論付けている。

#### 【孝田雅彦先生の略歴】

昭和59年 鳥取大学医学部医学科卒業  
鳥取大学第2内科入局  
平成元年 鳥取大学大学院医学研究科内科系終了  
平成11年 ドイツ連邦共和国Erlangen Nuernberg  
大学第一内科留学  
平成15年 鳥取大学医学部統合内科医学講座機能

鳥取医学雑誌新人優秀論文賞には、現鳥取市立病院小児科の小林裕貴子先生論文「当院における乳幼児RSウイルスとヒトメタニューモウイルス下気道感染症入院症例の比較検討」が選ばれた。本論文は、鳥取医学雑誌VOL. 48, No.1・2, 2020に掲載されたもので、2016年から2018年に鳥取県立厚生病院で入院加療されたRSウイルス下気道感染症239例（RSV群）とヒトメタニューモウイルス下気道感染症26例（hMPV群）を比較し、どのような臨床的特徴があるのかを検討した論文である。hMPV群はRSV群に比べて年齢が高く（14か月 vs 7か月）、入院時SpO<sub>2</sub>が低値であった（94% vs 96%）。一方、静脈血pCO<sub>2</sub>はRSV群で高値で（36.8mmHg vs 39.4mmHg）、呼吸器管理を要した27例はすべてRSV群であった。

以上より、RSV、hMPV感染症は症状と経過のみでは鑑別が困難なため、迅速抗原検査で確定診断を行って経過・予後の予測をたてて診療すべきであると結論している。

#### 【小林裕貴子先生の略歴】

平成27年 鳥取大学医学部卒業  
平成29年 鳥取大学周産期・小児医学(小児科)入局  
平成30年 鳥取県立中央病院 小児科  
平成31年 鳥取県立厚生病院 小児科  
令和3年 鳥取市立病院 小児科 勤務  
現在に至る



**令和3年度鳥取県医師会会員総会被表彰者名簿**  
**(鳥取県医師会長表彰)**

〔敬称略〕

**1. 白寿祝贈呈（2名）大正12年生**

宮川 鉄 男（北栄町）

縄 田 隆 淑（鳥取市）

**2. 米寿祝贈呈（9名）昭和9年生**

倉 元 義 人（境港市）

野 嶋 明 夫（米子市）

越 智 勤（米子市・越智内科医院）

伊 藤 文 利（倉吉市・伊藤皮膚科医院）

佐々木 博 史（大山町・佐々木医院）

五明田 孝（米子市・介護老人保健施設弓浜ゆうとぴあ）

田 中 陽（伯耆町・田中外科医院）

山 田 晴 成（米子市・山田内科医院）

臼 井 宗 雄（鳥取市）

**3. 喜寿祝贈呈（14名）昭和20年生**

中 谷 葆（日吉津村）

西 川 健 一（米子市・鳥大保健管理センター米子分室）

岸 本 朗（米子市・米子医療生協米子診療所）

湯 村 純 子（鳥取市・湯村皮膚科医院）

板 倉 和 資（八頭町・板倉整形脳外科医院）

佐 藤 武 夫（米子市・大山リハビリテーション病院）

谷 田 理（倉吉市・介護老人保健施設ひまわり）

田 村 矩 章（南部町・西伯病院）

塩 孜（三朝町・中部医師会立三朝温泉病院）

杉 山 長 毅（鳥取市・介護老人保健施設まさたみの郷）

矢 崎 誠 一（米子市・悠々ふれあいクリニックやぎさき）

貞 光 信 之（鳥取市・鹿野温泉病院）

福 島 明（鳥取市）

萬 秀 男（鳥取市）

**4. 会員として満50年以上医業従事者（3名）**

上 山 奎 自（鳥取市・上山整形外科医院）

石 田 勝 也（鳥取市・石田医院）

荒 川 雄 司（米子市・荒川耳鼻咽喉科）

**5. 永年役員（1名）**

根 津 勝（西部医師会）

**6. 第30回鳥取医学賞（2名）**

大 石 正 博（鳥取市・鳥取市立病院）

孝 田 雅 彦（日野町・日野病院）

**7. 鳥取医学雑誌第8回新人優秀論文賞（1名）**

小 林 裕 貴 子（鳥取市・鳥取市立病院）

## 第 3 回 理 事 会

- 日 時 令和3年6月3日（木） 午後5時40分～午後6時50分
- 場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町
- 出席者 渡辺会長、清水・小林両副会長  
明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事  
太田・秋藤・松田・岡田・廣岡・永島・來間各理事  
新田・山崎両監事  
松浦東部会長、松田中部会長、根津西部会長

### 協議事項

#### 1. 令和2年度事業報告及び決算の承認について

明穂常任理事より令和2年度事業報告、瀬川常任理事より同決算等について説明があった。

本日の理事会前に監事会が開催され、新田・山崎両監事が法人法及び定款に基づく監査を行った。新田監事より令和2年度事業及び決算について、「適正」である旨の監査報告があり、挙手による承認を求めたところ、全員の賛成で承認した。承認した事業報告及び決算は、6月19日（土）開催の定例代議員会へ議案を上程し、承認を得た後、鳥取県知事宛に提出する。

#### 2. 令和3年度会費減免申請（追加分）の承認について

研修医24名（東部17名、中部6名、西部1名）より申請があり、協議した結果、承認した。6月19日（土）開催の定例代議員会へ議案を上程し、承認を得る。

#### 3. 代議員の補欠就任について

本日付で立候補を締め切った結果、西部医師会より選出された福谷幸二先生（山陰労災病院）より立候補の届け出があり、本会代議員に就任した。任期は、令和4年3月31日までである（前任

者の残任期間）。

#### 4. 第205回定例代議員会の運営等について

6月19日（土）午後4時10分より県医師会館において開催する定例代議員会の役割分担を下記のとおりとした。

- ・令和2年度事業報告説明：清水副会長
- ・令和3年度事業計画説明：小林副会長
- ・令和3年度収支予算説明：瀬川常任理事
- ・令和2年度収支決算等説明：瀬川常任理事

#### 5. 会員総会の運営等について

6月19日（土）午後5時より県医師会館において開催する会員総会の役割分担を下記のとおりとした。

- ・司会・進行：明穂常任理事
- ・挨拶・表彰状授与：渡辺会長
- ・鳥取医学賞並びに鳥取医学雑誌新人優秀論文賞  
講演座長：廣岡理事
- ・特別講演（鳥大医学部長 中村廣繁先生）座長：渡辺会長

#### 6. 役員の職務分担項目の一部追加について

「勤務医対策」に「医師会組織強化対策」「医師の働き方改革」を追加した。主担当は永島理事、副担当は岡田・廣岡両理事である。

## 7. IPPNW日本支部理事会、日本支部総会について

理事会が6月16日（水）午後6時30分より、総会が6月23日（水）午後6時30分よりそれぞれWebで開催される。

## 8. 健保 新規個別指導の立会いについて

6月24日（木）午後1時30分より東部地区の1診療所を対象に実施される。岡田常任理事が立会う。

## 9. 禁煙指導医・講演医養成のための講習会について

下記の講演会を承認した

- ・東部医師会禁煙指導研究会講演会〈7月8日（木）午後7時 東部医師会館・Web〉

## 10. 日医かかりつけ医機能研修制度令和3年度応用研修会の開催について

7月18日（日）午前10時より「日本医師会Web研修システム」を利用したライブ配信で開催される。全医療機関あてに開催要項等をFAXするので、受講される先生は直接Webでの申込みをお願いする。医療機関や自宅等での視聴が困難な場合は、県医師会まで問い合わせさせていただきたい。

## 11. 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会の出席並びに提出議題について

8月22日（日）午前10時よりWebにて愛媛県医師会の担当で開催される。渡辺会長、明穂・瀬川・辻田・三上各常任理事、岡田・松田両理事、学校医部会運営委員会委員 石谷暢男先生（東部医師会副会長）、岡本 賢先生（中部医師会員）が出席する。提出議題及び日医への要望は、岡田理事に考案いただいた。

## 12. 鳥取県がん教育推進協議会委員の推薦について

任期満了に伴い推薦依頼がきている。東部医師

会理事 尾崎真人先生を推薦する。

## 13. 母体保護法指定医師の承認について

東部地区より1名の申請があった。本会母体保護法指定医師審査委員会委員も承認済である。協議した結果、承認した。

## 14. （日医通知）日本医師会員向けキャッシュレスサービスの取組み開始について

各都道府県医師会及び各地区医師会あてに通知がきている。日医会員限定で、これまでにない低手数料率でのキャッシュレスサービスの取組みを開始する。クレジットカード利用においては端末費用、導入費用および月額の利用料を無料とし、決裁手数料はVISA関連1.50%など低手数料である。日医としては、医療機関のキャッシュレス決済は、政府も普及を促進しており、医療機関の負担を最小限にした上で、希望する医療機関への普及を推進すべきと考えている。詳細は、<https://www.orcamo.co.jp/products/cashless.html>をご覧ください。

## 15. 名義後援について

下記の名義後援を了承した。

- ・第17回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会（9/4（土）ハワイアロハホール）
- ・第69回日本心臓病学会学術集会「臨床・かかりつけ医セッション」（9/17（金）～9/19（日）米子コンベンションセンター等）
- ・第20回鳥取県理学療法士学会（11/14（日）米子コンベンションセンター）
- ・第30回心の健康フォーラム（12/9（木）とりぎん文化会館）

## 16. 日医生涯教育制度認定申請の承認について

地区医師会などから申請の出ている講演会について協議の結果、何れも妥当として認定した。

## 報告事項

### 1. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の出席報告〈永島理事〉

5月21日、Webで開催され、渡辺会長とともに出席した。議事として、令和3年度全国医師会勤務医部会連絡協議会担当である京都府医師会より挨拶があった後、(1)医師の働き方改革(城守日医常任理事)、(2)新型コロナウイルス禍における勤務医の勤務環境の問題点(日医勤務医委員会委員2名)による講演とディスカッションが行われた。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

### 2. 鳥取県保健事業団評議員会・理事会の出席報告〈岡田常任理事〉

5月27日、県保健事業団において開催された。最初に評議員会が開催され、副理事長として瀬川常任理事とともに出席した。主な議事として、令和2年度事業報告及び収支決算、評議員・役員等の選任について審議が行われ、承認された。引き続き、理事会が開催され、理事長に健診センター所長 平尾正人先生が、副理事長に岡田常任理事と総合保健センター長 秋藤洋一先生が、常務理事には森脇光洋氏が就任したほか、常勤役員報酬額の決定、理事と法人の取引、顧問の推薦、について審議が行われ、原案どおり承認された。

### 3. 健保 新規個別指導の立会い報告〈太田理事〉

5月27日、東部地区の1診療所を対象に実施された。指導料及び管理料算定の際は内容を記載すること、診療時間内であるのに時間外診察を算定しないこと(返還)、などの指摘がなされた。

### 4. 第24回都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会の出席報告〈秋藤理事〉

5月28日、日医会館において開催され、テレビ

配信にて県医師会館で渡辺会長、岡田理事とともに出席した。議事は、(1)新型コロナワクチン接種等について、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会と共に「新型コロナワクチン接種合同会議」を設置したこと、個別接種を促進することを目的として新たな財政支援が行われることの説明があった。ワクチン接種の担い手不足が懸念されていることに関しては、各地域でどのような医療関係職種が足りないのか検証を行い、状況によっては、「日本医師会女性医師バンク」やナースセンターなど活用を求めた。(2)新型コロナウイルス感染症対応日本医師会休業補償制度について、中途加入を希望される会員からの声を受けて、5月17日に中途加入申し込みを再開した。(3)新型コロナウイルス感染症患者の受入病床の確保について、変異株においても、退院基準は従来株と同様であることの周知の要請があった。加えて、後方支援医療機関への支援が手厚くなったこと、クラスターが発生した医療機関・介護施設等への医師を除く看護・リハビリ・介護職等の派遣が「COVID-19 JMAT制度」では対象外となる部分を補足する新たな補償制度の仕組みを設けたことなどを説明があった。(4)新型コロナワクチンの接種業務に従事したことで、被扶養者に一時的に収入の増加が生じたとしても、直ちに被扶養者認定を取り消されない取り扱いを示す事務連絡が厚生労働省から保険者に発出されている。(5)施設内で療養を行う介護施設に対して、感染対策の徹底、療養の質及び体制の確保等を行うことができるよう、更なる支援が行われることになった。加えて、高齢者施設等への集中的検査計画を策定している都道府県において、新型コロナウイルス感染症対策としての検査を実施している高齢者施設が少ないとの指摘があることで、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき都道府県から協力要請や施設運営上の指導が行われる可能性があるとのことであった。

## 第 2 回 常 任 理 事 会

- 日 時 令和3年6月17日（木） 午後4時10分～午後6時10分
- 場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町
- 出席者 渡辺会長、清水・小林両副会長  
明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事  
秋藤理事

### 協議事項

#### 1. 日本医師会Web研修システムを用いた「医師の働き方改革に関する講習会」について (日医認定産業医制度指定研修)

7月4日（日）午後1時よりWebで日医認定産業医を対象に開催される。認定産業医に周知する。

#### 2. 健保 新規個別指導の立会いについて

7月15日（木）午後1時30分より西部地区の1診療所を対象に実施される。辻田常任理事が立会う。

#### 3. 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会委員の 就任等について

小林副会長が就任した。第1回目の協議会が7月15日（木）午後3時よりWebで開催される。

#### 4. 都道府県医師会「警察活動に協力する医師の 部会（仮称）」連絡協議会の出席について

7月30日（金）午後2時よりWebで開催される。廣岡理事が出席する。

#### 5. 鳥取県コロナワクチン接種健康被害調査委員 会（仮称）について

鳥取県では、医学的見地から調査する「鳥取県コロナワクチン接種健康被害調査委員会（仮称）」

を設置する。予防接種健康被害調査委員会は市町村が設置するが、県が市町村の委託を受けて設けることもでき、都道府県が設置方針を決めたのは全国で初めてである。この委員会は、被害者の申し出を受けて設置される。接種の際の副反応で障害が残った場合などに、国の救済給付金の対象になる事例があれば、厚生労働省に認定申請する。

#### 6. 鳥取県医師会「新型コロナウイルスワクチン 接種人材確保相談窓口」の設置について

本会では、新型コロナウイルスワクチン接種が職域でも開始されることに伴い、接種にかかる医師等の確保に関して企業、学校等からの相談に応じる窓口を6月10日付けで設置した。平日の午前9時～午後5時の間、電話、メール、面談等により相談を受ける。担当役員は秋藤理事、担当事務は井上彩主事、谷口事務局長とする。

#### 7. 中国四国医師会連合常任委員会の運営について

6月27日（日）正午よりWebにて本県の担当で開催する。広島県医師会より、「新型コロナウイルスワクチン接種の状況」について、65歳未満の接種体制、県境を越えた接種の状況等について議題が提出されており、意見交換を行う。

## 8. 新型コロナワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制の確保について

県医療政策課 笠見課長より説明があった。今後、職域接種及び65歳未満の方への接種が始まり、被接種者が増加し、これに伴い副反応事例も多く発生することが見込まれることから、下記の対応とした。

### (1) 接種会場における緊急対応

接種会場の医師が対応する。「緊急性あり」と判断した場合、接種会場で対応できる範囲の医療措置を行いながら、救急搬送を要請する。救急体制は、通常の救急搬送体制で対応する。搬送先の医療機関は救急隊が選定する。

### (2) 接種後の副反応等に対応する医療体制

まずは身近な医療機関等を受診する。受診した医療機関は、より専門的な対応が必要であると判断された場合は専門的な医療機関（県立中央病院、県立厚生病院、鳥大附属病院）を紹介する。

### (3) 副反応等に対応する支援体制

相談窓口として、県では「鳥取県新型コロナウイルスワクチン相談センター」を設置し、被接種者からの相談に対し、情報提供や受診先の紹介を行う。

### (4) 予防接種後副反応疑い報告

主たる報告者は、接種医または主治医（副反応を疑う症例を診察した医師）である。集団接種会場では接種医または当日の会場責任医師が書ける範囲で報告書を作成し、紹介する医療機関に申し送るとともに、(独)医薬品医療機器総合機構（PMDA）に第1報としてFAXし、予診票に添付して5年間保存する。会場を離れて発生した事例は、診察した医師により報告が必要である。

## 9. 東京オリ・パラ事前合宿県内受け入れ時の協力について

現時点でフランスが倉吉市内で合宿する予定である（スポーツクライミング）。県より受入れ選

手がコロナ、一般疾病等で医療機関を受診せざるを得なくなった場合の対応について協力依頼があり、中部医師会にお願いすることとした。

## 10. 関西広域連合協議会委員の推薦について

任期満了に伴い推薦依頼がきている。清水副会長を推薦する。

## 11. 鳥取県社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会委員の推薦について

任期満了に伴い推薦依頼がきている。9名の医師を推薦する（うち2名は東部医師会より推薦いただく）。

## 12. 「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」の対象となる研修会の承認について

下記の研究会を承認したが、会場で出席された方のみ単位を付与する。

・鳥取県東部糖尿病臨床研究会〈7月30日（金）午後7時 東部医師会館及びWeb配信〉

## 13. 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定更新の対象となる研修会の承認について

下記の研究会を承認したが、会場で出席された方のみ単位を付与する。

・鳥取県東部糖尿病臨床研究会〈7月30日（金）午後7時 東部医師会館及びWeb配信〉

・糖尿病と関連疾患を考えるWEBセミナー〈8月27日（金）午後7時 とりぎん文化会館及びWeb配信〉

## 14. 社会保険労務士の顧問契約について

近年、就業規則、雇用継続など労務関係の事務が複雑となり、多岐にわたっているため、専門家である社会保険労務士と本会との間で顧問契約することとした。

## 15. 職員の夏期賞与について

本会給与規程に基づき、6月30日（水）に支給

する。

## 報告事項

### 1. 新型コロナウイルスワクチン接種にかかる県と医師会との協議会の開催報告〈渡辺会長〉

6月3日、県医師会館において平井知事、長井鳥取市保健所長、植木統括監、中西県福祉保健部長、萬井県健康政策課長、西尾県医療・保険課長に参集いただき、テレビ会議で開催した。議事として、(1) 県営高齢者向け臨時接種体制、(2) 各地区医師会におけるワクチン接種にかかる諸問題、などについて報告、協議、意見交換を行った。現在65歳以上の高齢者の接種が行われているが、今月より鳥取市・米子市では市在住の65歳以上の高齢者を対象に県営接種会場にて4回集団接種を行う。今後は、各自治体の判断により順次、基礎疾患を有する者等を含めて年齢別等、広く一般接種を開始するが、国からの通達で、モデルナ社製ワクチンを使用し、職域(学校等を含む)単位でのワクチン接種が開始可能になったことから、本県においても県商工会議所連合会と実施に向けて協議していくとのことであった。

内容の詳細は、別途会報に掲載する。

### 2. 第11回新型コロナウイルス対策医療提供体制検討プロジェクト会議の出席報告〈秋藤理事〉

6月4日、テレビ会議で開催され、渡辺会長、地区医師会長、岡田理事、谷口事務局長とともに出席した。5月18日時点での医療供給体制の見直しで、新規感染者は1日あたりの最大想定30人に対し、4月末で1日当たり20人、5月以降は最大16人であり、1日最大療養者数は想定222人に対し、4月末での1日当たりの最大療養者数96人、5月以降の最大療養者数56人であった。これをもとに、状況が一度収束した段階で今後の感染拡大に備えて再検討を行う予定である。鳥取方式での在宅療養体制整備事業では、入院後に無症状または軽快して症状が安定した方の内、感染拡大がないと認められるまでの間、住み慣れた住宅環境で

療養することが望ましい方の療養体制整備で、宿泊療養所移行基準に準じて、認知症、障害のある方、子育て中の方などを対象とする。感染者の早期発見のために、重症者リスクの高い方が多い場所、集団に対して抗原キットを配布する。

### 3. 鳥取大学医学部75周年記念式典・記念講演会の出席報告〈渡辺会長〉

6月5日、ANAクラウンプラザ米子においてオンラインで開催され、来賓として、平井鳥取県知事、伊木米子市長とともに祝辞を述べてきた。関係自治体、地元産業界、名誉教授、関連病院長など多数の参加者で大変盛会であった。

### 4. 医療勤務環境改善担当課長会議の出席報告〈谷口事務局長〉

6月9日、Webで開催された。行政よりの説明では、医師の働き方改革に関する政策動向として、医師の時間外労働規制が2024年4月から適用になることから、それまでに対応すべき時短計画の作成などについて説明があった。その他、基調講演「今後、勤改センターに求められること」(浜松医科大学、小林利彦特任教授)、グループワークとして意見交換などが行われた。

### 5. 第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会の出席報告〈明穂常任理事〉

6月10日、Webにて開催された。議事として、講演3題、(1) 救急救命士制度のこれから、(2) 循環器救急のこれから、(3) 新型コロナ対応の経験、が行われた後、海上保安庁、消防庁、厚生労働省より報告・情報提供がなされた。

### 6. 鳥取県新型コロナウイルスワクチン接種体制協議会の出席報告〈秋藤理事〉

6月11日、県庁においてオンラインで開催され、渡辺会長、地区医師会長、岡田理事とともに出席した。最新の接種状況の報告があり、高齢者接種率では1回目終了者が40.8%(全国4位)、

2回目接種終了者9.09%（全国3位）であった。職域・大学などの接種では、モデルナワクチンを使用して1,000人単位で行い、医療従事者を含めスタッフ、会場など企業自らが確保することを要件としている。県として接種費用の中で市町村からの負担金支払いの不足する部分の支援、医療人材確保の支援を行い、県医師会も県と連携して支援すること提示した。また、今後、ファイザーワクチン供給が少なくなることが見込まれることから、住民向けの接種でもファイザーワクチンを使い切った時点とか、他会場に渡してモデルナワクチンに切り替えるなどの工夫をして、モデルワクチンの活用を検討するよう依頼があった。

## 7. 特別支援のためのスキルアップ研修会の出席報告〈谷口事務局長〉

6月11日、Webで開催された。行政よりの説明として、医療勤務環境改善に関する最新情報、令和3年度から新たに開始する特別支援事業の内容と事業の進め方等について説明があった。取り組み事例として、北海道医療勤務環境改善支援センターから説明があった後、グループワークとして意見交換などが行われた。特別支援事業の対象候補として鳥取県からは4病院を推薦しており、6月中には対象病院1病院を選定の予定である。

# 日本医師会

# 医師年金

## —ご加入のおすすめ—

医師年金は、日本医師会が運営する医師専用の私的年金です。  
日本医師会員で満64歳6カ月未満の方が加入できます（申し込みは64歳3カ月までをお願いします）。

医師年金 ホームページで  
ご加入時の

## 受取年金額のシミュレーションが できます！

医師年金 検索 <http://www.med.or.jp/nenkin/>

**【シミュレーション方法】**  
トップページから「シミュレーション」に入り、ご希望の受取額や保険料、生年月日を入力すると、年金プランが表示されます。

**【仮申し込み方法】**  
「マイページ」に登録すると、ネット上で医師年金の仮申し込みが可能となります。

お問い合わせ・資料請求：日本医師会 年金福祉課 ☎03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)



## 令和3年度鳥取県医学会

- 日 時 令和3年6月13日（日） 午前9時30分～午後4時10分  
 ■ 場 所 鳥取県立倉吉未来中心「セミナールーム3」 倉吉市駄経寺町212-5

令和3年度鳥取県医学会は会員など74名出席のもとに次のとおり開催しました。学会長代理としてご尽力いただいた鳥取県立厚生病院 副院長 吹野俊介先生はじめ病院職員の方々、更に共催の中部医師会に対し厚く御礼申し上げます。

なお、講演抄録は鳥取医学雑誌へ掲載予定です。

一般演題 24題

専門医共通講習

「抗菌薬の使い方」

講師 鳥取大学医学部臨床感染症学講座 寄附講座 教授 千酌 浩樹 先生

日医認定産業医制度指定研修会

「職域がん検診の精度管理」

講師 鳥取県医師会常任理事・産業医部会運営委員会委員 岡田 克夫 先生

参加者一覧

〈敬称略・五十音順〉

安梅 正則	赤松 是伸	明島 亮二	石飛 誠一	岩垣 尚史	上平 敦	梅田 楓子
圓道 響	大石 正博	大田里香子	大津 敬一	大野原良昌	岡田 克夫	岡田耕一郎
岡田 隆好	岡本 晶子	岡本 賢	岡本 勝	尾崎 舞	加藤 達生	門脇佳名子
河合 剛	河村 実穂	河本 知秀	岸田 芳幸	木村昂一郎	木山 智義	坂本 惠理
佐々木修一	澤田 郁	宍戸 英俊	志磨 直	清水 雅彦	下田 竜吾	菅村 一敬
高木 雄三	高野 友爾	竹内 昌子	竹田 晴彦	角田 佳穂	中尾 支奈	西江 浩
西村 謙吾	根鈴 怜治	野口圭太郎	野口 壮士	野口 直哉	野田 博司	橋本 政幸
長谷川利路	林原 伸治	廣岡 保明	吹野 俊介	福木 昌治	福嶋 寛子	藤井 雄基
細田 康平	堀 真也	牧原 浩	松田 隆子	松本 真実	松本 芽生	圓井 孝志
水田栄之助	南 優太	三好 謙一	森尾 泰夫	山村 至	山村真由美	山本 敏雄
湯川 喜美	吉田 良平	吉野 保之	渡辺 憲			

## 中国四国医師会連合常任委員会

- 日 時 令和3年6月27日（日） 午後0時10分～午後1時30分
- 場 所 Web会議
- 出席者 渡辺会長、清水副会長、明穂常任理事

### 概 要

日本医師会定例代議員会がWebで開催されたあとに開催した。明穂常任理事の司会で開会。渡辺会長の挨拶に続き議事に入った。

### 議 事

#### 1. 中央情勢報告

日医理事である松山岡山県医師会長、齋藤徳島県医師会長、日医監事である岡林高知県医師会長から報告があった。

#### 2. 5/7日本医師会財務委員会の出席報告

[清水副会長]

5月7日、テレビ会議で開催され、財務委員として清水副会長、高知県医師会野並副会長、日医監事として高知県医師会岡林会長が出席した。令和2年度の日本医師会収支決算案について説明の後、質疑応答があった。代議員会、理事会等の諸会議がコロナ禍の影響によりWeb会議となり旅費がかからなかったこと、単年度で約10億5千万円の余剰金、医師年金事業特別会計で資産収益があがっていること、などであった。

#### 3. 日本医師会財務委員会委員の交代について

高知県医師会、野並副会長から辞意表明があり、後任には愛媛県医師会、村上会長を日本医師会あてに通知し、日医代議員会で確認された。

#### 4. 5/13隣接ブロック担当県医師会長会議の開催報告 [渡辺会長]

5月13日テレビ会議で開催した。近畿ブロック

担当の松井京都府医師会長、九州ブロック担当の河野宮崎県医師会長が出席した。勤務医委員会の設置状況、新型コロナウイルス感染症にかかるブロック内の対応状況について意見交換を行った。

#### 5. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の状況について [広島県提案]

集団接種、個別接種、職域接種、65歳未満の接種体制の構築状況、県境を越えた接種の状況等について、各県から報告があり、意見交換を行った。各県とも概ね順調に推移している。今後のワクチン供給が減少しないか懸念される。

#### 6. 次期担当県について

連合規約の規定に従い、次期担当県は愛媛県医師会とした。

#### 7. 令和3年度中国四国医師会連合総会の開催方法について [愛媛県医師会]

10月2日（土）午後Webで開催することとした。常任委員会、総会、2分科会、特別講演、勤務医委員会を予定している。詳細は資料のとおり。

#### 8. その他

ブロック内の当面の諸会議の予定について次期担当県の愛媛県医師会から説明があった。

○女性医師の会：11月14日（日）午前 Web会議

○医事紛争研究会：11月14日（日）午後 Web会議

○隣接ブロック担当県医師会長会議は日程調整する。

## 平井知事が陣頭指揮！ ＝新型コロナウイルスワクチン接種にかかる県と医師会との協議会＝

■ 日 時 令和3年6月3日（木） 午後4時10分～午後5時30分

■ 場 所 テレビ会議にて3会場

■ 出席者 〈県医師会館〉

行 政：平井鳥取県知事、長井鳥取市保健所長、植木統括監

中西県福祉保健部長、萬井県健康政策課長

西尾県医療・保険課長

県新型コロナウイルスワクチン接種推進チーム

医師会：渡辺会長、清水・小林両副会長

明穂・岡田・瀬川・辻田・三上各常任理事

太田・秋藤・松田・岡田・廣岡・永島・來間各理事

新田・山崎両監事

松浦東部会長、松田中部会長、根津西部会長

〈中部医師会館〉福嶋中部理事、平賀倉吉保健所長

〈西部医師会館〉米子保健所長代理 中瀬係長

### 挨拶（要旨）

〈渡辺会長〉

本日の会議は、今後の接種体制の強化及び加速化について、県医師会並びに地区医師会としても全面的に協力したいという趣旨により、本会からの呼びかけで開催した。ワクチン接種の加速化を目的とした国における最近の大きな動きとして、東京と大阪に自衛隊による国営の接種体制がスタートした。また、当県においても、平井知事の指揮の下、鳥取市と米子市に県営の接種体制が開始することになっている。その他、従来の接種体制の更なる強化並びに加速化に繋がる重要な国の新たな方針も次々に示されている。

本日は、これらワクチン接種体制にかかる現状の情報を共有するとともに、課題解決に向けての協議・意見交換を行うことで、県及び市町村にお

ける接種計画並びに実施への強力な支援に繋げることができればと願っている。活発なご意見、ご討議をお願いする。

〈平井知事〉

一般報道にあったとおり、鳥取県では全国でもワクチン接種が進展している県として5本の指に入っている。これは年明けから各医師会の皆様、医療機関の皆様、市町村との話し合いの中で色々な工夫やお知恵をいただいた結果であり、まづもって感謝を申し上げます。皆様のご協力のおかげで医療従事者はほぼ完了した。6月中には40万回以上接種が可能なワクチンが供給されることとなり、うち30箱分は、接種が進展している5県のみへの取り計らいとして先に回してもらったものである。これにより高齢者2回分のワクチンが十分に確保できたので、次のステップである基礎疾

患のある優先接種を含めた一般接種にも着手できる。今後一般接種が始まり、接種の加速が求められる中、モデルナ社製ワクチンの職域接種が開始されることとなった。鳥取県としても職域接種によりワクチン接種を一層推進し、なるべく早期に集団免疫を獲得するため、引き続きご協力をお願いしたい。

## 議 事

### 1. 県営高齢者向け新型コロナウイルスワクチン臨時接種体制等について

6月下旬より鳥取市と米子市において、各市在住の65歳以上の高齢者を対象に、県営臨時接種会場（東部：県立中央病院、西部：県西部総合事務所）にて各回200人程度でそれぞれ計4回集団接種を行う予定である。

国の通達によると、高齢者から次の接種順位への移行は、高齢者への接種の完了を待つ必要はなく、高齢者の接種の見通しがついた自治体から、各自治体の判断により順次、基礎疾患を有する者等を含めて年齢別等、広く一般接種を開始していく。

また、モデルナ社製ワクチンを使用し、企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でのワクチン接種を開始することが可能になったことから、鳥取県においても県商工会議所連合会等と実施に向けて協議していく予定である。なお、企業単独での実施のほか、中小企業が商工会議所等を通じて共同で実施すること、企業が下請け企業など取引先も対象に含めて実施し、大学等が学生も対象に含めて実施することも可能になった。

### 2. 各地区医師会におけるワクチン接種にかかる諸問題について

各地区医師会より下記の意見、要望等が提出された。これらの意見等を踏まえ、今後のワクチン接種について自治体と協力しながら、医師会として最大限の努力をしていく。

- ・一般接種は、かかりつけ医のいない若い方が多

いため、各自治体におけるは集団接種会場の拡充に対する県の支援をお願いする。また、ワクチンの打ち手が少ないとの意見があるが、医師会としては出来る限り協力する体制である。

- ・今後、ファイザー社製とモデルナ社製のワクチンが流通することになるが、供給体制、接種区分など、早めの情報提供をお願いする。
- ・モデルナ社製のワクチンは契約上1,000人単位での供給になるため、大企業での対応となるが、1日100人ずつ接種するなど、小分けにしての柔軟な対応をお願いしたい。さらに、仕事が終わってからの接種も可能にさせていただきたい。
- ・ワクチンの余剰分については、接種者の選択には現場に一任いただき、様々な制限を設けないでほしい。

### 3. 意見交換

下記の意見があった。今後、可能な限り対応していくこととした。

- ・国に確認したところ、現時点で巡回診療は難しく、また、同じ会場でファイザー社製とモデルナ社製が同時に使用できないことになっている。
- ・早期に小・中・高校の教職員、並びに保育園職員のワクチン接種をお願いしたい。  
⇒ある程度の人数を集めて、夏休みに実施するなどして対応していきたい。厚労省と文科省でも検討されている。ファイザー社製は12歳以上、モデルナ社製は18歳以上が対象となる。大学生は夏休みに接種するようにしていきたい。
- ・職域接種において300人規模で接種できないか。中小企業が集まったの接種は可能か。  
⇒国では大企業しか考えていないが、取引先、近所の方、従業員の家族にも声をかけて1,000人集めるよう工夫してみる。
- ・商工会議所に所属していない小規模事業所への対応については、今後検討していく。

・接種の加速化に向けて、年齢、基礎疾患別に時期をずらして接種券を郵送する試案が示された。とりわけ、基礎疾患は概ね年齢に比例して有病率・重症化リスクが高まると推察されるため、高齢者から順次接種を進めることが合理的と考えられる。自治体毎の状況を考慮しながら、

職域接種も含めた検討をお願いしたい。

・一方、接種券は、希望者が早く接種することを優先に考え、一斉に郵送してから、例えば、職業別、親子など、接種方法についてアナウンスをしてみてもどうか。

## 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、 労働基準監督署への届出や申請は、**電子申請**を利用しましょう！

労働基準監督署に来署いただくなくても手続きできます

### 【届出・申請可能な主な手続】

- 労働基準法に定められた届出など（時間外・休日労働に関する協定届（36協定届） など）
- 最低賃金法に定められた申請など（最低賃金の減額特例許可の申請 など）

### 【電子申請の方法】

電子政府の総合窓口「e-Gov（イーガブ）」のホームページから電子申請が利用できます。

ホームページは

e-Gov

Q 検索

を検索してください。

鳥取労働局ホームページの電子申請の掲載箇所

[https://jsite.mhlw.go.jp/tottori-roudoukyoku/content/contents/roukikankei\\_denshi.pdf](https://jsite.mhlw.go.jp/tottori-roudoukyoku/content/contents/roukikankei_denshi.pdf)

もご覧ください。

# お知らせ

## がん患者等に対する妊孕性温存療法支援事業について

がん治療（抗がん剤の投与、放射線治療）等に伴い生じる生殖機能の低下に備えて、患者の受精卵や卵子、精子を凍結保存（妊孕性温存療法）する費用に対し、国と協調して補助を実施することで、AYA世代（思春期と若年成人、15歳～40歳未満を指す）を中心とする患者が、経済的な負担を軽減しながら将来に子どもを持つ可能性を残せるよう支援を行うため、鳥取県でも令和3年度6月補正予算として、患者向けに助成金を支給できるように制度を用意いたしました。

各医師の皆様におかれましては、がん治療にあたって生殖機能の低下に対する妊孕性温存対応の支援事業がスタートすることをご告知おきいただくとともに、患者やご家族の方からの相談が寄せられた場合の対応について、ご協力をお願いいたします。

### 〈助成制度の概要〉

#### (1) 助成対象者（妊孕性温存治療に取り組む患者）

- ・ 国実施要綱に基づき、がん等の治療により生殖機能が低下する又は失う恐れがあると医師に判断された方で、対象疾患（がん等）の治療、生命予後に影響がないこと
- ・ 対象疾患はがんに限定せず、国実施要綱に基づき、非がん疾患（再生不良性貧血など一部の難病）も含む
- ・ 妊孕性温存治療を開始する日における年齢が43歳未満の方（※下限はなし）
- ・ 鳥取県内に住所を有しており、妊孕性温存治療を鳥取県が定める医療機関で実施された方

#### (2) 助成対象となる凍結保存治療の種類と金額等

※所得制限はなし、補助金額は上限

区 分	凍結治療の内容等	補助金額／1回	補助回数
①胚（受精卵）凍結	体外受精などで受精・発育した受精卵を保存	35万円	1人あたり 2回まで
②未受精卵子凍結	体外受精等を行う前の卵子を保存	20万円	
③卵巢組織凍結	卵巢を摘出し卵巢にある造卵機能を1度に全て保存	40万円	
④精子凍結	体外受精等を行う前の精子を保存	2万5千円	
⑤精子凍結（精巣内精子採取）	精巣内から直接精子を採取して保存	35万円	

パートナーがいない女性の場合  
未受精卵子の凍結保存

採卵誘発剤を投与し、卵巣を刺激します。  
麻酔をした上で卵巣に針を刺して卵子を採取し、凍結保存する方法です。



男性の場合  
精子の凍結保存

射精などにより精液を採取し、処理をした上で凍結保存する方法です。精巣から直接、手術を行い取り出すこともあります。



パートナーがいる女性の場合  
受精卵(胚)の凍結保存

採取した卵子とパートナーから採取した精子を生殖補助医療により受精させ、数日間培養した胚を凍結保存する方法です。



年少女性や時間的な余裕がない場合  
卵巣組織の凍結保存

腹腔鏡下手術などにより、卵巣組織の一部を取り出し、凍結保存を行う方法です。



(3) 実施時期 令和3年4月1日から(国の実施要綱が制定された日に遡って適用となる)

〈問合せ先〉

鳥取県福祉保健部健康医療局 健康政策課 がん・生活習慣病対策室  
電話 0857-26-7769

## お知らせ

### 「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」研修会のご案内

令和3年度新規登録、および令和4年度の更新要件となる研修会として下記のとおりご案内いたします。新規登録および次年度も登録医を継続希望の先生方にご出席ください（継続は自動更新）。ご自身が所属しておられない地区医師会の会でもご出席いただけます。

なお、開催期日の関係で、鳥取県医師会報への掲載が間に合わないものもありますので、鳥取県医師会ホームページでもご確認ください。

新規登録を希望される方は、鳥取県医師会ホームページ（会員用）から申請書をダウンロードするか、本会または地区医師会から用紙を取り寄せ、ご所属の地区医師会へご提出くださいますようお願い申し上げます。

但し、日本糖尿病学会専門医、日本糖尿病協会療養指導医については、登録（更新）要件は免除となりますので、申請書にその旨記載の上ご提出ください。

ご不明な点がございましたら、鳥取県医師会事務局（0857-27-5566）へお問い合わせください。

#### ○東部

##### 鳥取県東部糖尿病臨床研究会

日 時 令和3年7月30日（金）19：00～20：30

場 所 鳥取県東部医師会館 3階 研修室（Web配信もされますが、登録要件を満たすのは、現地参加された方のみとなります）

#### 内 容

座長 鳥取県立中央病院 糖尿病・内分泌・代謝内科 部長 村尾和良先生

【一般講演】 19：00～19：30

「外来糖尿病患者への運動療法」

尾崎病院 リハビリテーション室

鍼灸マッサージ師 運動療法訓練技能登録者 鳥取県糖尿病療養指導士 福山 洋先生

【特別講演】 19：30～20：30

「腎障害を有する糖尿病症例の診療」

鳥根大学医学部内科学講座 内科学第一 教授 金崎啓造先生

（日医生涯教育制度1.5単位 CC：10 チーム医療、76 糖尿病、82 生活習慣）



# お知らせ

## 令和3年度『鳥取県糖尿病療養指導士試験 受験資格取得のための講習会』開催要項

鳥取県糖尿病療養指導士認定機構

1 目的 この講習会は、鳥取県糖尿病療養指導士の育成を目的として開催します。

2 実施主体 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構（鳥取県医師会内）

3 日時・会場

《講習会A》令和3年10月31日（日）9時50分～18時（受付：9時30分～9時50分）

鳥取県西部医師会館（米子市久米町136）

《講習会B》令和3年11月21日（日）9時50分～17時50分（受付：9時30分～9時50分）

鳥取県医師会館（鳥取市戎町317）

《講習会C》令和3年12月19日（日）9時50分～18時（受付：9時30分～9時50分）

倉吉未来中心 セミナールーム3（倉吉市駄経寺町212-5）

\*当日連絡先（県医師会公用携帯）090-5694-1845

4 日程・内容 次ページ以降

5 受講対象者

以下のすべてを満たす方を対象とします。

1) 看護師、保健師、助産師、准看護師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、衛生検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、視能訓練士、臨床工学技士、救急救命士、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師、介護支援専門員（ケアマネージャー）、介護職員初任者研修、介護職員実務者研修、臨床心理士 のいずれかの資格を有する者

2) 糖尿病療養指導の実務経験が3年以上あること

3) 日本糖尿病協会の正会員であること（研修受講決定後に加入も可）

6 定員 30名程度

※3つの密「密閉・密集・密接」を避けるため、例年より定員を減らしています。

※応募者多数の場合には受講者及び受講人数などを調整させていただくことがあります。

7 申込み期間 令和3年7月1日（木）～令和3年8月16日（月）

8 申込み先 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構（鳥取市戎町317 鳥取県医師会内）

TEL：0857-27-5566 FAX：0857-29-1578

\*申込み受付は、FAXのみです。

9 受講料 9,000円

受講決定通知書が届きましたら、通知書に記載されている指定口座に、指定されている期日までに受講料の振込みをお願いします。手数料は各自で負担してください。

ただし、すでに振込み済みの方は、免除となります。

10 講習会の受講について

(1) 講習会はすべて必修となります。3年以内にABCの全ての講習会を受講した者のみ、

試験を受験することが出来ます。毎講習会終了後に配付します受講証明書は、3年間有効です。

(2) 受講者は、日本糖尿病協会に正会員として入会しなければいけません。

(3) 過去3年以内に受講済みの講習会へ再度受講をご希望の方は、ご希望の講義日と再受講である旨を申込書へ記載してください。

再受講の場合、受講料は1講義日につき1,000円です。

## 11 その他

(1) 糖尿病療養指導ガイドブック2021（日本糖尿病療養指導士認定機構編著・メディカル・レビュー社）をテキストとして使用いたします。各自でご準備ください。

(2) 昼食・駐車場については、当機構では斡旋いたしません。各自でご準備ください。

### 《講習会A》

日 時：令和3年10月31日（日） 9時50分～18時（受付：9時30分～9時50分）

会 場：鳥取県西部医師会館（米子市久米町136）

※お車は、医師会館裏に駐車してください。

\*事前に郵送しております受講票をご持参ください。

時 間	内 容	講 師
9：30～9：50	受 付	
9：50～10：00 (10分)	【認定機構スタッフ挨拶】	
10：00～10：40 (40分)	①糖尿病の現状と課題、その中で鳥取県糖尿病療養指導士が果たすべき役割	池田 匡先生 (住吉内科眼科クリニック)
10：40～11：20 (40分)	②糖尿病の概念、診断、成因	山本 玲先生 (住吉内科眼科クリニック)
11：20～12：00 (40分)	③糖尿病とメタボリックシンドローム、動脈硬化のリスクファクターの管理	村上 功先生 (村上内科クリニック)
12：00～12：40 (40分)	④糖尿病の治療総論・糖尿病の先進医療（インスリンポンプ・持続モニタリング）	大倉 毅先生 (鳥取大学医学部)
12：40～13：30	休 憩（昼 食）	
13：30～14：10 (40分)	⑤糖尿病の食事療法	本多千鶴氏 (博愛病院 管理栄養士)
14：10～14：50 (40分)	⑥糖尿病の薬物療法（内服薬での治療）	寺本 圭氏 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)
14：50～15：30 (40分)	⑦糖尿病の薬物療法（注射薬での治療）	新宅理恵氏 (鳥取大学医学部附属病院 薬剤部)
15：30～15：50	休 憩	
15：50～16：30 (40分)	⑧糖尿病と歯科疾患・医科歯科連携	足立 融先生 (（一社）鳥取県歯科医師会 理事)
16：30～17：10 (40分)	⑨糖尿病の細小血管障害（網膜症）・内科眼科連携	馬場高志 先生 (鳥取大学医学部附属病院 眼科講師)
17：10～17：50 (40分)	⑩糖尿病の急性合併症	宮本美香先生 (山陰労災病院)
17：50～18：00	受講証明書配付	

※内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

《講習会B》

日 時：令和3年11月21日（日） 9時50分～17時50分（受付：9時30分～9時50分）

会 場：鳥取県医師会館（鳥取市戎町317）

※駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

\*事前に郵送しております受講票をご持参ください。

時 間	内 容	講 師
9：30～9：50	受 付	
9：50～10：30 (40分)	①糖尿病の検査	内田智美氏 (真誠会セントラルクリニック 臨床検査技師)
10：30～11：10 (40分)	②糖尿病の細小血管障害（神経障害）	藤川康典先生 (さとに田園クリニック)
11：10～11：50 (40分)	③糖尿病の大血管障害（動脈硬化性疾患）	吉田泰之先生 (鳥取県立中央病院)
11：50～12：10	休 憩	
12：10～12：50 (40分)	④糖尿病のその他の合併症	村尾和良先生 (鳥取県立中央病院)
12：50～13：30 (40分)	⑤糖尿病の細小血管障害（腎症）	久代昌彦先生 (鳥取市立病院)
13：30～14：20	休 憩（昼 食）	
14：20～15：50 (90分)	グループワーク①（血糖自己測定）	CDE-J 若干名
15：50～16：10	休 憩	
16：10～17：40 (90分)	グループワーク②（インスリン注射）	同上
17：40～17：50	受講証明書配付	

※内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

### 《講習会C》

日 時：令和3年12月19日（日） 9時50分～18時（受付：9時30分～9時50分）

会 場：倉吉未来中心 セミナールーム3（倉吉市駄経寺町212-5）

\*事前に郵送しております受講票をご持参ください。

時 間	内 容	講 師
9：30～9：50	受 付	
9：50～10：30 (40分)	①糖尿病患者の心理と行動	森 倫子氏 (三朝温泉病院 糖尿病看護認定看護師)
10：30～11：10 (40分)	②患者教育	森 倫子氏 (三朝温泉病院 糖尿病看護認定看護師)
11：10～11：50 (40分)	③糖尿病の運動療法	山口洋司氏 (三朝温泉病院リハビリテーション科 理学療法士)
11：50～12：30 (40分)	④糖尿病のフットケア	森 倫子氏 (三朝温泉病院 糖尿病看護認定看護師)
12：30～13：20	休 憩 (昼 食)	
13：20～14：00 (40分)	⑤ライフステージ別の療養指導① (乳幼児期、学童期、思春期)	長石純一先生 (鳥取市立病院)
14：00～14：40 (40分)	⑥ライフステージ別の療養指導② (妊娠・出産)	植崎晃史先生 (鳥取県立中央病院)
14：40～15：20 (40分)	⑦ライフステージ別の療養指導③ (就労期、高齢期)	本田 彬先生 (山陰労災病院)
15：20～15：40	休 憩	
15：40～16：20 (40分)	⑧高齢糖尿病患者の社会支援の受け方	森次奈穂美氏 (鳥取県立中央病院 ソーシャルワーカー)
16：20～17：00 (40分)	⑨特殊な状況・病態時の療養指導① (シックデー、周術期、栄養不足、旅行)	藤岡洋平先生 (博愛病院)
17：00～17：40 (40分)	⑩特殊な状況・病態時の療養指導② (災害対策、医療安全)	谷口晋一先生 (鳥取大学医学部)
17：40～17：50 (10分)	【認定機構スタッフ挨拶】	
17：50～18：00	受講証明書配付	

※内容が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

## お知らせ

### 令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査のご案内

さて、平成10年から臨床検査技師会との共同で実施しております「鳥取県臨床検査精度管理調査」を本年度も下記の通り実施いたします。

基本参加費は、主催2団体の会員施設1,000円、非会員施設5,000円とし、参加1部門あたり1,000円（会員施設の全9部門参加では10,000円）の参加費が必要となります。

なお、精度管理調査の参加登録および結果入力には、日本臨床衛生検査技師会が用意したWeb集計システムを利用しております。（結果入力について、毎年結果未入力の施設が多数見受けられます。回答期限を厳守いただきますようお願いいたします。）

参加を希望される施設におかれましては、以下の手順にて申込みをお願いします。

手順①：インターネットから日本臨床衛生検査技師会へ施設登録と参加申込み（施設番号とパスワードは昨年と同じものが使用できます。）



手順②：①の参加申込み後、「令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査参加申込書」にて鳥取県医師会へもFAX（0857-29-1578）にて申込みをお願いします。

#### 記

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1. サーベイ実施項目      | 別紙申込書のとおり9部門                                   |
| 2. サーベイ試料配付日     | 令和3年9月5日（日）発送、翌日到着の予定<br>試料締切日については、別途連絡があります。 |
| 3. 参加申込み期間（締め切り） | 令和3年7月19日（月）～8月2日（月）                           |
| 4. 参加申込み先        | 鳥取県医師会事務局 FAX 0857-29-1578（送信票不要）              |

※詳細な申込み手順および参加申込書の様式は、鳥取県医師会ホームページ（<http://www.tottori.med.or.jp/>）に掲載しております。

#### 【申込・請求等に関するお問合せ先】

鳥取県医師会事務局（TEL：0857-27-5566 FAX：0857-29-1578）

#### 【実施内容についてのお問合せ先】

鳥取赤十字病院検査部 木下（TEL：0857-24-8111）

## 令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査参加申込書

令和3年度鳥取県臨床検査精度管理調査への参加を申し込みます。 ※ は必須記入項目

※ 貴施設名： \_\_\_\_\_ ※ 日臨技登録施設番号： \_\_\_\_\_

※ 部署名： \_\_\_\_\_ ※ 連絡責任者： \_\_\_\_\_

※ 住所：〒 \_\_\_\_\_

※ 電話番号： \_\_\_\_\_ FAX 番号： \_\_\_\_\_

部門	↓参加希望部門・項目群に○をしてください（1部門・1項目でも結構です）	参加費用
生化学	グルコース、総コレステロール、中性脂肪、HDL-C、LDL-C、総蛋白、アルブミン、T-Bil、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、Na、K、Cl、Ca、鉄、無機リン、AST、ALT、ALP、LD、γ-GT、アミラーゼ、CK、コリンエステラーゼ、CRP	1,000 円
	ヘモグロビン A1c (NGSP 値)	
血液	赤血球数、白血球数、Hb、Ht、血小板数、MCV、白血球機械分類、網状赤血球	1,000 円
一般	尿定性（蛋白・糖・潜血）	1,000 円
	便潜血	
免疫血清	HBs 抗原、HCV 抗体、TP 抗体	1,000 円
	AFP、CEA、CA19-9、PSA	
生理	心電図フォトサーベイ	1,000 円
	腹部超音波フォトサーベイ	
輸血	血液型＋不規則抗体検査＋輸血対応、輸血フォト、アンケート調査	1,000 円
微生物	微生物フォトサーベイ	1,000 円
細胞学	細胞診フォトサーベイ	1,000 円
病理学	病理フォトサーベイ	1,000 円
	<b>参加部門数</b> _____ <b>部門</b> _____	① 円
	<b>基本参加料</b> （会員施設 1,000 円、非会員施設 5,000 円）	② 円
	<b>① + ② 合計</b>	円

☆ 実施の手引き、フォトサーベイ画像の閲覧および回答入力などは専用のWebシステムを使用します。インターネットに接続されたパソコンをご用意ください。

☆ 参加費用は1部門あたり1,000円に基本参加料1,000円又は5,000円が加算されます。

☆ 参加費用は後日、鳥取県医師会事務局より請求致します。

☆ 問い合わせ先：鳥取赤十字病院 検査部 木下 敬一郎 TEL 0857(24)8111

☆ 申込先：〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会事務局 鈴木 宛

**FAX 0857-29-1578 (送信票不要) 令和3年8月2日(月) 必着**

☆ 試料発送先が申込みの住所と異なる場合は以下にお届け先の住所、施設名、連絡者名および電話番号をご記入ください。

試料お届け先：

住所 〒 \_\_\_\_\_

施設名 \_\_\_\_\_

連絡者名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_



## 『働く人も納得 労務管理いくつかのポイント』

1 労働条件を示す際には①文書を交付し②説明を行い③質問を受け付ける

- a 契約期間
- b 期間の定めのある契約を更新する場合の基準
- c 就業の場所、従事すべき業務
- d 始業終業の時刻、時間外労働の有無、休憩時間、休日、休暇、就業時転換
- e 賃金の決定・計算・支払いの方法、賃金の締切、支払の時期、昇給
- f 退職（解雇の事由を含む）

以上6項目については文書を交付し、丁寧に説明し、質問にも応えましょう。

2 「時間外労働・休日労働に関する届（=36協定届）」を監督署に提出しているから、その範囲であれば、いくら労働させてもいい？

協定の枠内の労働時間であっても、密度の濃い業務や緊張を強いられる業務等で労働災害に陥ったら、安全配慮義務違反に問われる可能性があります。長時間労働の削減の努力は必須です。

3 有給休暇を取ってもらう

有給休暇の残日数を各従業員に周知し、部署ごとに取得計画を立て、有給休暇を取得しやすい職場を目指しましょう。

4 解雇は就業規則に基づいて

解雇は、その人の収入と仕事を失わせることになるので、慎重な対応が求められます。

- a 具体的事実・状況を把握し
- b 就業規則の条項へのあてはめ
- c その解雇理由が、多くの人が「解雇も仕方ないね」と思うような「客観的に合理的」な理由でなければなりません。
- d 対象労働者の言い分もちゃんと聞きましょう。
- e その上で、解雇相当との判断がなされた場合、

改めて、通告しましょう。

f 解雇は最後の手段。他の方法が可能かどうかとも検討して下さい。

5 基本給・賞与・退職金・各種手当について労働者間で差がある場合、その理由を説明できる

特に正規職員と非正規職員間に格差がある場合、「なぜですか」と当該職員に聞かれたら、理由を答えなければなりません。2021年4月1日からは、中小企業を含めすべての事業場で格差がある場合の説明義務が法施行されています。

6 ハラスメント防止対策が機能している（①相談窓口の周知②ハラスメントは懲戒処分の対象になることの就業規則への明記③事案発生時の体制の確認④ハラスメントの有無にかかわらず毎年の研修の実施etc.）

多くのハラスメントが「指導・教育」という名の下で行われている実態があります。また、懲戒には該当しなくても、指導とは言えない事案もあります。

### 【例】

指導者「また失敗したの。いつもそこで失敗しますね」「できるだけ帰っちゃだめですよ」と言って帰宅。

被指導者は遅くまで残って努力するができない。

明るる日、指導者は「もういいです。私がします」と言う。

力を入れていただきたいのは、「指導・教育とは」についての研修です。これを毎年行うことで、「なるほど」「確かに」と被指導者が納得して理解してくれる、指導者の本当の指導力をつけることができます。

（今回の担当：医療労務管理アドバイザー 服部 昭 社会保険労務士）

《過去に掲載した記事は、勤改センターのホームページからも閲覧できます》

お問い合わせ・ご相談など、お気軽にご連絡ください。ご利用は無料です。

**鳥取県医療勤務環境改善支援センター（略称：勤改センター）**

住所：鳥取市戎町317（鳥取県医師会館内） TEL：0857-29-0060 FAX：0857-29-1578

メール：kinmukaizen-c@tottori.med.or.jp

HP：https://www.tottori.med.or.jp/kinmukaizen-c/

鳥取 勤務環境改善 検索

## 第2の人生

倉吉市 おはだのことクリニック 本 田 聡 子

平素より大変お世話になっております。

このたび、原稿の依頼をいただき、恐縮しております。

2011年に鳥取大学を卒業後、厚生病院で初期研修を行い、「帰って来いよ」と送り出していただいて、鳥取市立病院、岡山大学を経て、2020年11月12日「いい皮膚の日」に皮膚科クリニックを開院させていただき、あっという間に半年たちました。

当初は、2020年がこのようなコロナ禍となるとは夢にも思わず、緊急事態宣言が発令され、移動や行動が制限される中で、建物の建築をはじめ、さまざまな準備に時間がかかり、本当に開院できるのか、と思ったことも何度かありました。

おかげさまで、なんとか開院にこぎつけ、ご挨拶もそこそこで大変失礼をしておりましたのに、鳥取大学や厚生病院はじめ多くの先生方に次から次にお世話になり、本当にありがたく思っております。

倉吉出身で、教員として社会人を經由してから医師となったこともあり、初期研修では、高校のときの同級生が指導医となってくださったり、当時の生徒がすでに看護師や救急救命士として勤務していたり、など、思いがけない再会があるたびに、一気に時が戻りました。

また、開院したある日、患者さんの名前と年齢をみて、担任だった生徒かなと思いましたが、当時の校区と現住所が異なり、長い年月とマスクのため確信が持てず、「A小学校でしたか?」と聞くと怪訝そうに「はい」。「4年生のときBくんとかCちゃんとか同じクラスでしたか?」と聞くとさらに怪訝そうに名札をみて「!」。

またある日は、「せんせーい! お母さんから聞きましたー! 今日、子どもに湿疹ができてしまって」

生徒も驚きますが、みんないいお父さんやお母さんになっていて、こちらもびっくりします。

かなり強い自閉的傾向があった男の子（今はいいおじさんですが）が、お母さんに連れられてやってきたときは、事前に、お母さんが、彼の記憶を塗り替える努力をしてくださったのですが、彼はどうしても理解が難しかったようで、「先生は今は音楽の先生じゃない。」と独り言で繰り返しながら診察室の隅で固まってしまったり。

毎日、何かしら、面白いことが起こります。

それにしても、やはり、これまでのすぐ隣の診察室に先輩の先生がいてくださる環境は貴重だった、と実感する日々で、多くのcommon diseaseに紛れて稀な疾患を見落とさないように、また、腫瘍が悪性かどうか悩ましかったり、さまざまな情報に遅れないように、など、以前に増して緊張感があります。

仕事がないときは体力作りで始めたフラメンコができるかな、と思っていましたが、毎日夕方は、緊張感から解放されるのだと思いますが、遠足から帰ったような感じで、おそらく、コロナがなくても直帰していたなあとと思います。

最後になりましたが、まだまだ精進の日々ですが、この地域に、少しでもお役に立てれば幸いと存じます。

先生方にはお世話になったりご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。





## 最新の活動状況

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 (NPO法人おしどりネット 理事長) 辻田 哲朗

おしどりネットの最新の活動状況についてお知らせします。

### 1. 新規参加機関

3月より西部を中心に薬局への参加の勧誘を行った結果予想を上回る応募があり、6月末現在で28もの参加となりました。これだけの多くの参加となった理由としては、薬局の先生方にとっては患者情報が処方箋やお薬手帳くらいからしかなく、もっと詳しい情報があれば、よりきめ細かい服薬指導ができるのにと忸怩たる思いを持っておられたようです。これによりおしどりネットの新しい活用の幅が広がった気がします。次は中部、東部の薬局への勧誘を行っていく予定です。

さらに4月からは鳥取赤十字病院に参加して頂いており、9月からは情報提供病院として活動して頂く予定であり、これにより東部でのおしどりネットの普及が一気に広まるのではと思われ、東部での二次医療圏の連携がより密になることに寄与できるのではとの希望を持っています。今後は東部の医療機関の先生方へのおしどりネットの勧誘により力を入れたいと思っています。また7月からは済生会境港総合病院に再加入して頂きました。とりあえずは参照機関としてですが、それでもとても力強い助っ人を得た思いです。患者さんの立場からすると、特に鳥大との連携が深まるのでとても助かるのではないのでしょうか。

さらにまた鳥取医療センター、清水病院(倉吉市)の情報提供病院としての参加が予定されてい

て、少しずつですが前に進むことが出来ています。

### 2. 機能拡張の周知

6月号で鳥大医療情報部教授の近藤博史先生よりおしどりネットの機能拡張についての説明がありました。この機能拡張は今年度中には準備が整う予定ですが、その内容は①救急患者対応機能、②災害(往診)時対応機能、③スマホ・タブレット対応機能、④SS-MIXデータバックアップ対応機能の4つです。これらについてはまだ参加機関には具体的な説明が出来ていないので、機会を設けて周知をしていくつもりです。

### 3. 令和4年度に向けて

令和4年度に向けて新たに機能拡張を行い、質の向上によりさらに使い勝手のいいおしどりネットにしていく予定です。とは言っても機能拡張をするためには財源が必要ですので、いかに少ない予算で効果的なものが作れるのか? とりあえずの課題は民間の検査会社にある各医療機関の検査情報をおしどりネットサーバーに吸い上げて、参加機関にフィードバックできる機能を追加することです。これにより他の医療機関や薬局に情報提供ができるようになり、利便性が増し検査の重複の阻止にも寄与できることとなります。他にもいくつか検討すべきテーマがあり、テーマ毎にワーキンググループを作り、検討、協議を進めるつもりです。今後ともおしどりネットをよろしく願います。



### がんゲノム医療の現状と今後の展望について ～鳥取大学医学部附属病院がんゲノム医療センターのご紹介～

鳥取大学医学部附属病院 がんゲノム医療センター長／鳥取大学医学部 消化器・小児外科 教授 藤原 義之

#### はじめに

がんは遺伝子に傷が入り正常細胞が変化して発生するという概念は、今や常識となっています。私が医者になった30数年前ごろから、一般的になったと記憶しています。「遺伝子が解ればがんは克服できる!？」との考えのもとに、その後世界中でがん遺伝子の研究が重点的に行われてきました。そして、今回、がんの遺伝子異常を調べ、個々の患者に応じた治療法を選択するという、がんゲノム医療が始まりました。まさに個別化治療（オーダーメイド治療）であり、大変注目を浴びました。鳥取大学医学部附属病院にがんゲノム医療センターが発足したのは2019年4月であり、がんゲノム医療に必要ながん遺伝子パネル検査が保険適応となったのは、この年の6月でした（写真1）。実際に、鳥取大学においては、体制を整備し2019年10月より、この保険診療下のがんゲノム医療が開始されました。今回、1年半が経過したがんゲノム医療の現状を報告するとともに、この医療の注意点と今後の展開をご紹介します。

#### がんゲノム医療とは

がんは、我々の体を構成する細胞内に存在する遺伝子の異常により発生します。ゲノムとは、この遺伝子情報すべてを表す言葉です。この個々のがんで異なる遺伝子異常を調べ、そのがんの遺伝



写真1 鳥取大学医学部附属病院がんゲノム医療センター

子異常に基づき治療法を選択するのが、がんゲノム医療です。この遺伝子を網羅的に調べる検査が遺伝子パネル検査です。現在鳥取大学で施行可能なパネル検査を表1に示します。保険適応となっているパネル検査は、国産のNCCオンコパネルと米国製のFoundationOneの2種類であり、違いは、NCCオンコパネルは日本人のがんに変異が多い遺伝子に絞っており、血液の遺伝子変異も同

表1 鳥取大学で使用可能ながん遺伝子パネル検査

パネルの種類	患者負担	遺伝子数	その他	価格
NCCオンコパネル	保険適応	114個	国産 血液も同時に検査	56万円
FoundationOne	保険適応	324個	米国製	56万円
TSO500	自費診療	520個	岡山大学主導の先進医療	58万円

時に調べることで遺伝性腫瘍が確定するのに対し、FoundationOneは多くの遺伝子情報が得られるという特徴があります。遺伝性腫瘍の診断が必要な場合はNCCオンコパネルが選択され、それ以外は情報量の多いFoundationOneが使用されています。また、保険適応ではありませんが、マルチプレックス遺伝子パネル（TSO500）も施行可能です。これは、岡山大学を中心に全国25施設で行われている先進医療であり、国内最大級の520個の遺伝子を調べることができます。令和3年7月時点では、まだ保険適応にはなっていませんが、近々血液中（血漿中）の循環がんDNAを用いたパネル検査が承認予定であり、がん組織が利用できない患者にも適応が広がる予定です。このパネル検査の結果をもとに、週に一度、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学とウェブにてエキスパートパネル会議（写真2）が開催され治療法の提案がなされます。その後、患者に対し治療法の提案を含めた診療が行われる、という流れになります。

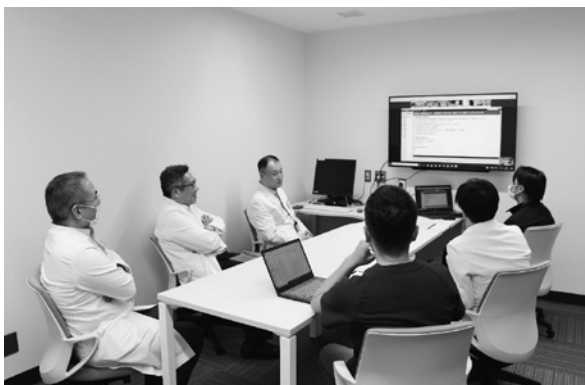


写真2 エキスパートパネル会議

### がんゲノム医療の問題点と注意点

いわゆる個別化治療（オーダーメイド治療）ということで社会から多くの期待を集め始まった医療ですが、なかなか治療法が見つからない、見つかったとしても治療へのアクセスにハードルがある、そして、適応が限られていることなど、医療現場において少なからず混乱が生じています。この医療は、今後の新薬の開発や医療制度の改善につながる重要な第一歩ではありますが、始まったばかりの

未熟な医療でもあります。このことを理解していただき、がん患者とその家族に正確な情報を伝えていくことが重要です。

この医療の適応となるのは、白血病などの血液がんを除いた固形腫瘍です。現時点では、生検や手術で得られた組織からDNAを抽出して遺伝子異常を調べますが、血液からがんのDNA異常を調べるパネル検査も保険適応外ですが使用されています。保険適応となるのは、患者ひとりにつき1回だけ、がんに対する標準治療がなくなったか、なくなりそうな場合に適応とされています。あるいは、原発不明がん・希少がんなどの治療法がない場合も適応となります。注意点として、①組織の保存状態が悪い、あるいは古い検体では、DNA解析ができない、あるいは不完全になることがある。②この医療を希望されてから最終結果を報告するまでの期間が長いこと。（鳥取大学の場合は中央値で53日かかっています。）③この検査を行うと、遺伝性腫瘍（全がんの5～10%）が見つかることがあり、家族を含めた遺伝カウンセリングが必要となることがある。などがあげられます。この医療を受けられるのは、現時点では、全国12ヶ所のがんゲノム医療中核拠点病院（中四国地方では岡山大学）、33ヶ所の拠点病院と161ヶ所の連携病院に限られています。鳥取県では鳥取大学と鳥取県立中央病院で受けることができます。

### がんゲノム医療の現状

我が国で行われるパネル検査結果は原則として全例がんゲノム情報センター：C-CATに登録されます。このゲノム情報は国民の共有財産として、がん医療の向上のために使用されます。このC-CATの登録状況をホームページで見ることができます。（[https://for-patients.c-cat.ncc.go.jp/registration\\_status/](https://for-patients.c-cat.ncc.go.jp/registration_status/)）これを見ると開始当初から徐々に症例が増加し、2019年12月以降は月700例程度、1年間で約8,500例のがんパネル検査が全国で行われております。厚生労働省の調査によれ

ば、パネル検査開始から5ヵ月間でパネル検査を受けた805名の患者のうち治療に結びついた人は88名(10.5%)でした。がんの臓器別にみると、①腸、②膵臓、③乳房、④卵巣・卵管、⑤肺、⑥食道・胃、の順にこの医療が提供されています。鳥取大学におけるパネル検査の結果は、これまでパネル検査を行った48例中、実際に提案された治療を開始できたのはこのうち3例(6.2%)でした。2例は検体不良で遺伝子解析ができず、2例は最終結果がでるまでにお亡くなりになっていました。

ターのご紹介と、がんゲノム医療の現状と注意点を解説しました。がんゲノム医療は発展途上の医療であることは、ご理解いただき、現状をがん患者と家族に正確にお伝えして納得の上で受けていただくことが重要です。ポイントは、がん組織検体の管理が重要なこと、そして、治療の希望がある患者に対しては、なるべく早めにこの医療を提供することが重要です。標準治療がなくなる前のまだ十分に治療の対象となる全身状態の患者に対して、がんゲノム医療を導入されることをお勧めします。

## まとめ

鳥取大学医学部附属病院がんゲノム医療セン

## 「医師資格証」の発行について

日本医師会電子認証センターが発行する「医師資格証」は、医師資格を証明する電子証明をカード内のICチップに格納し、現実世界だけでなくIT世界でも医師であることを証明することができます。利用シーンとしては、採用時の医師資格確認、地域医療連携ネットワーク等のログイン認証、診療情報提供加算の要件の一つであるHPKI電子署名、日医生涯教育制度やかかりつけ医機能の各種研修会の受講履歴・単位管理が挙げられます。

また、鳥取県医師会においては、県医・地区医師会主催の研修会等の受付時に医師資格証をリーダーにかざしていただくだけで受付が可能です。



### \* 日医会員

- ・初回発行手数料、年間利用料は無料
- ・5年経過後の更新時には手数料5,000円(税別)が必要

### \* 日医非会員

- ・初回発行手数料は5,000円(税別)が必要
- ・年間利用料は6,000円(税別)が必要
- ・5年経過後の更新時には手数料5,000円(税別)が必要(発行・更新1年目は合計11,000円(税別)が必要)

### \* 申請に必要な書類

- ・発行申請書  
(ホームページからダウンロード)
- ・住民票の写し  
(原本で発行から6か月以内)
- ・医師免許証のコピー
- ・本人確認書類のコピー  
(運転免許証、マイナンバーカードなど)

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページ (<https://www.jmaca.med.or.jp/>) をご覧ください。

小ちやい兄ちゃん

倉吉市 石飛 誠一

妹は次男の吾を今も呼ぶ「小ちやい兄ちゃん」  
八十路こえても

ふるさとの丘に登れば沖の島に白波立つ見ゆあ  
の日のように

湯豆腐で独居の父と飲んだ夜を今も忘れず木枯  
吹けば

久々に街の散歩に出てみればパチンコ屋二軒倒  
産して居り

冬草を踏みて川土手に来てみれば護岸工事あり  
て水鳥居らず

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ (<https://www.tottori.med.or.jp>) のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→ 「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyou.tottori.med.or.jp>



大山伽羅木  
ダイセンキャラボク

特別養護老人ホーム ゆうらく 細田 庸夫

「又か」と言われるが、又書かせて頂く。

大山隠岐国立公園には、「ダイセン（大山）」と名が付く植物が複数ある。最も有名なのが「ダイセンキャラボク」で、頂上付近にある純林は国の特別天然記念物となっているが、大山の固有種ではない。

漢字では「大山伽羅木」となる。「伽羅」は香木の一種で辞書には「沈香の最上の種類」と載っていた。残念ながら、大山伽羅木は香木の伽羅とは別種類の樹木である。しかし、香木だったら、既に採りつくされている可能性もある。これが、カタカナで表記されたのでは、名前の由来は知らずに覚える。

「大山」を冠する植物を調べたら全部で7種あった。上記以外に、「大山黄董」「大山瓢箪木」「大山三つ葉躑躅」「大山鋏形」「大山足細菅」「大山弟切」で、漢字併記すれば、語源に迫り、樹形も想像出来る。

春のNHK鳥取地方ニュースでは、「シバザクラ（芝桜）」の満開が紹介されていたが、字幕はカタカナだけだった。これでは植物の姿が想像出来ない。拙宅の前庭の隅に、この時期「ほたるぶくろ」が咲く。「蛸袋」と書けば、名前の由来が直ぐ分かる。

植物や動物の名前の前に、「姫」が付く場合がある。「ひめほたる」も「姫蛸」と書けば、「姫」が「小さい」、「可愛い」を意味する「接頭辞」であることが分かる。他に「姫百合」「姫空木」等がある。

同じような接頭辞に「いぬ（犬）」がある。「いぬつげ（犬柘植）」や「いぬわし（犬鷲）」の「犬」は良い意味で付けられたものではない。

「いそひよどり」の漢字は「磯鴨」で、生息地

を冠しているが、最近では市街地で見られ、美声を披露してくれる。九州地方に自生している「みやまきりしま」は、「躑躅」の仲間で、「深山霧島」の方が似合うと思う。植物には結構「深山」を冠したものが多いが、何か神秘性を帯びる。

「ぶっぼうそう」は、お釈迦様から賜った法名のような「仏法僧」が日本語名である。漢字以外で表記すれば、お釈迦様も嘆かれると思う。

雀は多くの鳥に付けられている。中でも「ひばり」に付けられた「雲雀」はこの鳥の生態を現した傑作と思う。「カナリア」には「金糸雀」の漢字がある。カナリアが欣喜雀躍して喜びそうな名前である。

「かわせみ」の漢字は「翡翠」、日本で採れる宝石の「翡翠」と同じ漢字であることを、この原稿を起草して初めて知った。従って、「やませみ」は「山翡翠」となるが、「やまひすい」と読まれかねない。

今年の5月南部町法勝寺に、複合施設「キナルなんぶ」が完成した。名前の由来には触れないが、その中に水槽があり、「オオサンショウウオ」が飼ってある。「本名」は「大山椒魚」であるが、中々姿を見せない。このカタカナ表示が不満で姿を現さないのかと思ったが、本来夜行性だった。

岡山県に棲む「あゆもどき」は天然記念物である。この漢字は「鮎擬」、これで魚体が凡そ想像出来る。

6月のある日、昼過ぎのテレビで、愛媛県のある河川で行われる天然鰻の「ジゴク漁」を紹介していた。誰もが「地獄漁」と考えるが、用語の「カタカナ汚染」を感じた。閻魔様も、「俺は地獄の主だが、『エンマ』じゃない。閻魔だ」と言われる筈。

# 「氷感」と「氷温」—過冷却保存への挑戦—（後編）

独立行政法人国立病院機構 米子医療センター 杉谷 篤

さて、もう一つ、「氷温」という技術がある。米子空港に通ずる国道に「氷温協会」という看板が出ており、空港内の売店では氷温食品という海産物が購入できる。『改訂版 氷温食品入門』という本を手に入れ（写真1）、著者であり、氷温協会理事長の山根昭彦さんに面談する機会を得て、氷温と過冷却、臓器保存のことについて、いろいろとご教示いただいた（写真2）。

水は0℃で凍るが、野菜、果物、魚、肉などの食品は0℃以下でも凍らず、食品によって凍り始

める温度、つまり氷結点が違っており、それぞれの氷結点までの、冷蔵でもなく冷凍でもない温度域がある。これを氷温域と呼ぶ。昭彦さんの実父である山根昭美博士が二十世紀ナシの貯蔵の失敗から発見したそうである。食品も含め、モノによって異なる氷温域に厳格に維持すれば、モノは長期保存が可能ということだろう。

それでは、「肝臓や腎臓などを、それぞれの最適な氷温域に維持すれば長期保存は可能ではなかろうか？」と考えたい。この本の中に、「氷温技術を用いた臓器保存」という項目があった。その内容は、1999年に英文雑誌にも公表されている。ラット肝臓の氷結点は-1.0℃であることを見つけて、氷温庫の温度を-0.8℃に設定。UW液で灌流、72時間保存したのち再灌流したところ、肝臓の鮮度が保たれたとしている。

私は2021年になって、『眠りへの散歩道』というエッセイ集を見つけた（写真3）。著者の太田和夫先生は、東京女子医大腎臓病総合医療センター所長として日本の腎移植を牽引してきた大先



写真1 『氷温食品入門』山根昭彦

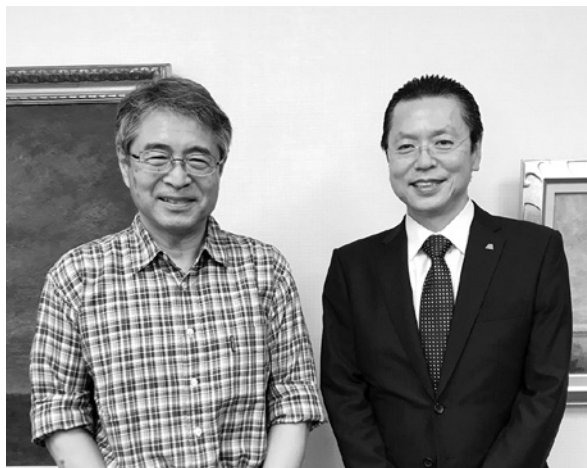


写真2 山根昭彦さんと氷温協会にて

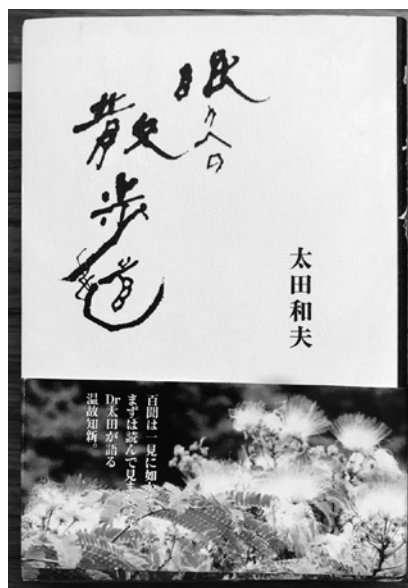


写真3 『眠りへの散歩道』太田和夫

生である。この本の42ページに「疑問は氷解」という一節がある。「なぜ、冬の食べ物がおいしいのか」という疑問が、米子で山根昭美さんに氷温の仕組みを聞いて氷解したと記載されている。おそらく1997年ごろの出会いではないかと想像するが、思わぬところで人の輪はつながるのだと驚いた。太田先生は、食品の話からすぐに臓器保存に応用できないかとひらめき、医学的な理由を考察されている。腎臓のような臓器を冷却すると、細胞内の水分が凍り、氷の結晶が細胞膜を破る。残った電解質は濃縮して組織を傷害する。温度を戻す時またいへんである。そこで凍らせないように徐々に冷やしていく氷温技術に関心を持ったが、厳密な温度コントロールが必要で、振動などで瞬間的に氷が発生するという問題もあると看破されている。

「氷温」発祥の地が米子市であったので、鳥取大学医学部の医師、研究者たちもいくつかの観点から注目して共同研究に参画していた。たとえば、マウス受精卵を用いて、氷温保存を行えば、短期の受精卵保存が可能という論文には産婦人科の先生が共著者である。また、ヒト全血製剤の品質保存に氷温が有効とする論文では、解剖学教室の先生が共著者となっている。

山根昭彦さんは、米子出身で北海道大学卒業の農学博士であり、父・山根昭美氏のもとで食品産業と「氷温」のことを研究していた。動植物の細胞レベルでの生死の境は0℃ではなく、それぞれの氷結点。ここまでの温度域が氷温域となるが、氷結点よりも低温でありながら凍結しないで過冷却状態を示す不思議な世界がある（図1）。食品などを冷却していくと、図のような冷却曲線を描く。品温は次第に低下していくが、あるポイント（破壊点）に達すると、食品は潜熱を放出して氷結点まで上昇し、凍結を開始する。この氷結点から破壊点までの未凍結な過冷却状態が超氷温域。超氷温域で、まず低温馴化が進み、細胞内の水分が細胞外に移行していくので、細胞外での凍結が起こる。しかし、細胞外の氷結晶が細胞内にまで

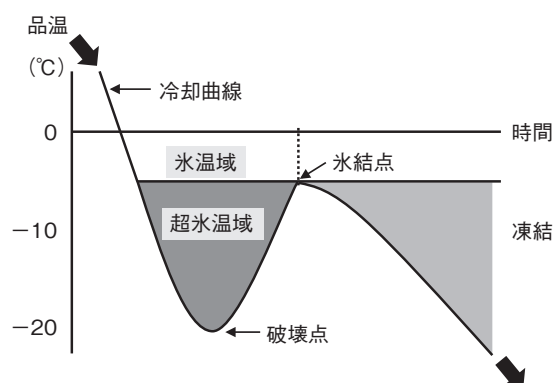


図1 冷却に伴う品温の変化  
『氷温食品入門』より改変

成長しなければ、徐々に復温すれば、細胞外の氷が溶けて、凍結前に移行した水分が再びもどるので貯蔵前の状態に復元できるとされている。

食品の高鮮度を保ち、高品質化をもたらす「氷温技術」は、食品の保存と流通に大きく寄与。氷温庫をはじめとする氷温機器は、大型のものから家庭用の冷蔵庫内にも広く普及している。山根さんは、学際的な方面にも造詣があつて、氷温協会への入会管理、氷温学会の主催や学会誌「氷温科学」の出版も主催されている。

後編で紹介した「氷温」の山根昭彦さんと、前編で挙げた「氷感」の三谷 樹<sup>たつき</sup>さんには、実は共通点と接点があつた。二人とも、食品保存に関して卓越した考えと行動力を持って一生をささげた父親がいたことである。山根昭彦さんの父親である先代社長の昭美さんは、若いころから腎障害があつたが、無理をして仕事に専念し、人工透析を受けるようになった。1998年、70歳で急逝されたので、昭彦さんは後を継いで氷温研究所代表になった。父上は、天才肌の感性で「とてつもなく大きなビジョン」を掲げる。その科学的、理論的背景をみつけるのは昭彦さんの仕事である。厳しい父に、「そんなことは無駄だ。」と言われながらも、必死についていったそうである。

三谷 樹さんの父・明彦さんも「大きな夢」をまず掲げる人だった。脱サラをして起業した。特許を取得して、次々とアイデアを掲げ実践していく。ずいぶん昔、明彦さんは氷温協会を訪ねてこ



られて、私が座った社長室の同じソファに座られていたと昭彦さんにお聞きした。二人の「アキヒコ」が過冷却をめぐる熱い議論を交わしたことだろうと思う。まだ若かった樹さんたちは、静電場の現象に疑問を抱きながらも、懸命に父についていった。父の亡き後は、答えがないかもしれない原理を一つずつ解明したいと思って社長を継ぎ、人々のためと思い精進した。私は、今回、このお二人にお会いできた幸運に感謝したい。

「過冷却」という言葉は、一般的には0℃以下でも凍らない状態と解釈されているが、ここで紹介した氷温、氷感の両方に通じる現象と言える。私は、モノによって過冷却な状態がありうる（氷温）、創出できる（氷感）という概念は理解できるが、1) 果物や肉のような食材と異なり、複雑な機能を持った細胞、組織の集合体である肝臓、腎臓などの臓器の氷結点はどのようにして決められるのだろうか、2) どのようにして氷温域に維持するか、3) 静電場がどのような機序で臓器の氷結を防ぐのか、構成する組織によって異なるのか、4) 移植臓器は保存中の低温障害に加え、復温方法が問題ではなからうか、5) レシピエントに移植したとき、虚血・再灌流障害を制御できないのではないか、などの疑問が私の心には残っていた。調べた限り、移植臓器の保存には長らく進展がなかった。

しかし、医学は進歩する。2019年になって米国のハーバード大学のグループが、ヒトの脳死ドナーから摘出されたが、移植に使用されなかった

5例の肝臓で過冷却保存に成功したことを発表した。摘出されて4℃のUW液に保存された肝臓の血管に機械をつなぎ、灌流保存液を流しながら（機械灌流）、少しずつ温度を下げていく。さらに、いくつかの非凍結剤を加えて、20時間、-4℃に保存する。その後、逆の手順で肝臓を復温させていく。機械灌流をしながら、非凍結剤を洗い流し、4℃まで復温して、肝臓が摘出・保存された状態まで戻す。ここで、血液製剤を灌流して調べたところ、ドナーの体内から摘出された肝臓は合計30時間を超える保存後でも、通常の移植時の状態と遜色がない保存状態であったと述べている。著者らは、「何日とは言えないが、およそ数日という範囲で保存可能だろう。」と考察し、チームリーダーであるユーゲン博士は、「灌流と過冷却、2つの方法で臓器移植の世界が大きく変わる」と解説している。ここに記された所見は、先人たちが悩み、試行錯誤したポイントをすべて包含している。

あるとき、私は「臓器の長期保存に過冷却が応用できないか」という素朴な疑問から、人の輪を拡げて挑戦してみたが、やはり、これほど長期的で大規模な研究をしなければ、結果はでないであろうと再認識を余儀なくされた。山陰で生まれ育った私にとって、鳥取県で生まれた「氷温」と島根県で生まれた「氷感」が極めて身近に感じられるのである。山陰発のパイオニアたちの人間模様と、その志が受け継がれ食の世界で大きく成果をあげていることを記しておきたい。

日医による日医会員のためのレセコンソフト

**日医標準レセプトソフト** (通称: ORCA / 略称: 日レセ)



ホームページアドレス

<https://www.orca.med.or.jp/>



# 老健入所者の看取り同意書作成の時期について

介護老人保健施設 ル・サンテリオンよどえ 中 下 英之助

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が入所者、施設職員で始まりましたが、医療・介護現場は感染予防対策が続いており、特に遠隔地の家族の面談は感染リスクがあり家族の面会制限が行われ、急変時以外はオンライン面会が行われています。

老衰の診断は概ね80歳以上の高齢者であり、食事量が減ることによる体重減少、活動性低下で寝たきりとなる、認知症が進行する、会話が乏しくなり、無表情になります。

しかし実際の老衰の診断は難しく、摂食量が減る原因として義歯が合わず、食事形態を変更して補助食品にすると栄養状態が改善した。食事拒否の場合もあり認知症薬処方や、一時的に点滴したら食欲が改善した場合があります。

老衰状態になった場合、老健入所者はほとんどが医療機関からの紹介であり、病歴を再確認して必要な検査の施行や医療機関を受診して確定します。

老衰の診断をした場合に生存期間に対する予後予測が必要であり、厚労省は介護施設の看取り加算の拡充により、死亡日45日前から評価出来るようになりました。

癌患者の場合には死亡直前を予測する尺度PPI (Palliative Prognostic Index) など各種ありますが、認知症・老衰などの場合は機能低下の状態が徐々進行するために、老衰の予後予測尺度は確立していません。

老健入所者の場合には要介護度が高くて臓器障害などの消耗性疾患により悪液質が進行するため、早期の死亡時期予測は困難のことが多く、老衰の診断から死亡までの期間は平均1.9か月（1日から10か月）、死を予測できる時期は死亡前の1～3週間などの報告があります。

当老健では、昨年度入所者16例に看取り同意書の確認を行い、その時期は死亡の1か月以内8例（BMI平均18.3）、2か月前6例（BMI平均15.7）、4か月1例、5か月1例と大半が2か月以内でした。1か月以内の確認例は急速に老衰症状が進行した例が多く、2か月前の確認例は体重減少期間が半年以上と比較的長期にわたりBMIも低値でした。入所者に対する毎月のBMI、PPIの観察により老衰の徴候を早期に発見して、病状の把握と家族に対して看取りケアに関する的確な情報を伝えることができます。

緊急事態宣言の都道府県間からの移動自粛、面会制限があり、老健入所の老衰例に対しては早期の予後予測を行い、とくに遠隔地に居住する家族に対して意志疎通の可能な時期に来所されて最後のお別れや終末期の早期準備機会を提供しています。

老健入所者の老衰の対応方法の直観的イメージとしてフライトに例えてみます。老健は病院と在宅をつなぐ中間施設とされ、包括的ケアサービス施設としてターミナルケアにも対応します。目的地を目指して離陸して水平飛行を続けます。目的地が近づき、減速して高度を徐々に下げてきます。老衰が進行してきた場合、目的地を在宅復帰から看取りに変更して、入所時は延命治療の希望がなくても、経口摂取が入らない、誤嚥を繰り返すなど衰弱が進行してきた場合に、経管栄養、CVポート造設などの選択、延命の期間、処置後の経過など説明して延命治療を再確認します。

施設における看取り希望者は老衰が進行して最終局面になれば、着陸態勢のアナウンスと同様に看取り同意書の確認、終末期ケアを継続して最終寄港地の滑走路にランディングを目指します。

# 安心な筋肉注射とは

鳥取市 尾崎クリニック 尾崎 行 男

コロナワクチン接種は筋肉注射で行うとなっているが、これまで筋肉注射を行う機会がなく戸惑うことが多い。厚生労働省の指針では肩峰から真下に3横指下が目安で、注射針は太さ25G長さ25mmのものを使い、年齢体格に応じて適切に行うと説明されているが、漠然としていて注射する側として対処に困る。最近では肩峰下3横指の筋注は腋窩神経や橈骨神経の損傷やSIRVA (Shoulder Injury Related to Vaccine Administration) を起こしやすいので、前後腋窩線を結ぶ高さで行うのが望ましいとされているが、中心的な方法となっていない。このため私は確実に筋肉内注射を行いたいため、接種直前に超音波検査で皮膚一皮下組織の厚さ (a)、皮膚一骨膜外までの厚さ (b) を測定し、 $(a+b)/2$  を適切な筋注の深さとした。また前後腋窩線の高さで上腕周囲径を測り、これが適切な刺入深度に利用できないかを検討した。つまり上腕周囲径を20で割った数字を推定深度とした (たとえば上腕周囲径28cmの人は $28\text{cm}/20=14\text{mm}$ を推定深度とした)。これまで160名の高齢者に行い、実際に測定した皮膚から筋肉中間部までの数値と推定値との差をみると、 $\pm 2\text{mm}$ が60.6%、 $\pm 4\text{mm}$ が91.4%だった。上腕周囲径が太くなる程推定値より実測値の方が長くなっているが、全例の方が推定深度で刺入すると針先は筋層内にとどまった。ただ上腕周囲径20~25cmの痩せてる人は

推定値より2~3mm浅く、30cm以上の人は2~3mm深く注射した方が良かった。

また超音波検査で筋肉層を見ると、浅いところはhypoechoicで筋肉細胞が多くあり、深層ではすりガラス状でisoechoicとなり筋肉細胞が薄くなっていると思われた。mRNAワクチンは接種により筋肉細胞内でスパイクタンパクが生成され、結果的に生体内にスパイクタンパク質に対する特異抗体が誘導されるとされています。このことから接種は筋層の浅い所にしたほうが良いと思われます。インシュリン注射器で1Vからワクチン7回分接種可能とした宇治徳洲会病院の末吉敦先生はインシュリン注射器の細い針で接種した方に多く抗体が産生されたと報告されている。インシュリン注射器は長さが13mmで筋層の浅い所に接種されたので抗体産生が多くなったと私は推論している。今回の検索では高齢者の皮膚一皮下組織の厚さは10mm未満の方が91%、皮膚一骨膜外までの厚さが25mm以下の方が69.5%であったことから針の長さは25mmより16mmの方がベストで、骨にコツンと当たったら2~3mm引いて注入するという乱暴なことはしない方が良いと思っている。

以上安心な接種を行いたいと考えておられる方に少しでも参考にしていただければ良いと思い報告いたしました。

## 地図の上に線を引く (34)<sup>注)</sup>

上田病院 上田 武郎

後世の人間が言わば江戸時代初期の武将に成りすまして書いたと評される「武功夜話」ですが、秀吉の朝鮮出兵に関してどの様に記しているかを上垣外本から拾い出して要約すると次の様になります。

即ち「少なからぬ大名が出兵を嫌ったにもかかわらず秀吉は強行した。しかし何故か徳川家康と前田利家という二大大名は出兵を免がれた。細川藤孝はこの出兵を大義も仁愛もないと批判し、厳寒の地で兵糧不足となる事を憂えた上で、もし失敗すれば徳川の存在が大きくなり、逆に豊臣は没落しかねないと語った。秀吉は弟の秀長の反対を受け入れて出兵を取り止めるべきだった。」

この中で細川藤孝の言葉は明らかに出兵の結果を知る後世の人間の創作だろうと感じられますが、それも含めて秀吉の朝鮮出兵は愚行だったという見方が、これが書かれた江戸時代後期（しかし幕末の動乱の50～60年前）には有ったという事になります。出兵から200年以上経ってこの様な見方が記されるというのは、それが徳川政権の長年の公式見解だったから（但し、徳川の不出兵を不審がる部分を除いて）ではないかと思うのですが、実際はどうだったのでしょうか？

今回の参考本の一つによると、秀吉の死後に日本勢を引き揚げさせる際、徳川家康を含む五大老が講和に関して指示を出したと島津家文書にあるそうです。具体的にどの様な指示であったかは参考本には記されていませんが、明と朝鮮は受け入れませんでした。しかし、豊臣政権として講和の努力がそれ以外になされたとは書かれていません。恐らくこの時の「講和」は軍勢の引き揚げを安全なものにする為のものに過ぎず、それほど真剣なものではなかったのではないかと考えます。

更に、引き揚げたその後は皆様よく御存知の様に石田・小西らと加藤・黒田らの反目～豊臣家と家康との間の緊張の高まり～関ヶ原の合戦、と内紛が続き、豊臣政権の中核部は外交に十分な力を割けませんでした。

但し、国内で一つだけ、朝鮮との復交に必死になっていた所がありました。それは対馬です。

当時の対馬は耕作地に恵まれず、穀物を外部から得なければなりません。秀吉の朝鮮出兵以前の対馬は一つの「国」として朝鮮に臣従する形を取り、倭寇対策の手当として米や豆を支給され、また日本と朝鮮の交易を仲介して利益を得ていましたが、出兵後は日朝の断交により食糧の支給も交易も止まってしまい、危機に陥ったのです。日朝復交の試みは、対馬から朝鮮への働きかけで改めて始まりました。

日本勢が朝鮮から撤退した翌年には対馬は朝鮮に使節を派遣しています。しかし朝鮮側は当然の事ながら日本に対して敵意・恐怖・憎悪の念が強く、対馬に対して返書を出すどころか使者をそのまま抑留してしまいます。

必死の対馬はこれに対して、使者の返還を求めると共に譲歩・誠意のしるしとして朝鮮人捕虜の一部を新使節に同行させて送還します。

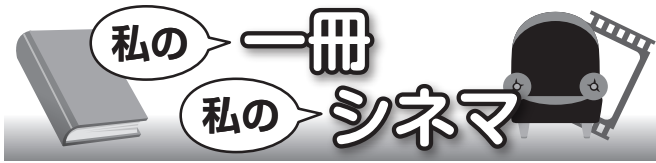
日本勢は二度の戦役で民間人を含む多数の朝鮮人を捕虜として拉致し帰っていました。これが戦後の朝鮮に取って大きな問題になっていました。ですから、使節を送る度に捕虜を送還する対馬に対して朝鮮側も少しずつ態度を変えて行きます。

但し、中央の豊臣政権が内紛で意志統一の出来ない状態では、対馬以外の国内の捕虜についてはままたらなかつたと思われまふ。

注) 前回の題名番号を（番外編5）としたのは（33）の間違いでした。

### 参考図書

- ・「論集幕藩体制史 第1期・第8巻 対外関係と鎖国」藤野 保編、雄山閣出版（1995年）〔県立図書館蔵〕
- ・「朝鮮通信使と徳川幕府」仲尾 宏著、明石書房（1997年）〔県立図書館蔵〕



## 「だれもが愛しいチャンピオン」 監督 ハビエル・フェセル

米子市 辻田耳鼻咽喉科医院 辻田 哲 朗



最近見た映画の中でイチオシです。これはスペイン映画でスペインでは2018年の興行収入第1位になったほどヒットしました。日本ではスペイン映画の知名度

はそれほど高くないせいもあり、あまり話題にはならなかったですが、掛値なしに面白かったです。映画のコンセプトは「本物の知的障害者たちが主人公になって画面一杯に暴れまくるハートフル・コメディ」といったところになります。

おおよそのあらすじです。あるプロバスケットのコーチが些細なトラブルでクビになり、やけ酒をあおって酒酔い運転をしたら運悪くパトカーに追突してしまいました。おまけに妻と別居中の身でもあるというダメ尽くしの男に罰として課せられた奉仕活動は知的障害者たちで作るバスケットボールチームのコーチというものでした。チーム名は「アミーゴズ」。知的障害者だから、コーチの言うことを理解できない。皆好き勝手にやりだしてまともな練習すらできない。ミーティングでの意思疎通もできないetc。元プロバスケットのコーチVSまともにパスすらもできない障害者たちと言った構図をコミカルに描いているのがなんとも可笑しいのです。

その「アミーゴズ」のメンバーですが、驚くことに皆正真正銘の知的障害者たちです。人選はこの映画を作るにあたり、スペイン全土の障害者に出演を募ったところなんと600名もの応募があったそうで、その中から厳選した10名ですが、それぞれ皆個性の塊で、演技をしてるのか地のままで



やってるのかわからないほどハチャメチャで、この映画の監督は障害者たちをまるでお笑い芸人であるかのように笑い飛ばしているし、当人たちも笑われるのを目一杯楽しんでいるのが痛快でした。日本で知的障害者の映画を作るとしたら、まるで腫れ物にさわるかのように距離を置いてしまいがちになるでしょう。差別はしないけど区別をしてしまうはずですよ。ところがスペイン人は違っていました。知的障害者たちを一つの個性と捉えて、まったく区別せずに普通に接していました。そしてダメ男なのに元プロバスケのコーチというプライドだけは高い「アミーゴズ」のコーチは、彼らの表面は底抜けに明るいけど、社会の片隅で邪魔者扱いにされている一面を知って、次第に一体となって困難を乗り越えながらリーグ戦を勝ち進んでいきます。そしてラストでは一体どんなことが待っているのか？ 興味ある方は是非ご覧になってください。

## 7人目の家族 ～ミニチュアダックスフンドのナナ～

鳥取市 おおたけ脳神経・漢方内科クリニック 大竹 実

我が家には、ミニチュアダックスフンドの愛犬ナナがいます。上の子二人が小さい頃から犬を飼いたがっていたのですが、下の子二人の世話が忙しくて、なかなか飼えずにいました。約10年前に鳥取に引っ越してきて、家を建てたのをきっかけに、子供たちにきちんとお世話をするという誓約書まで書かせて、室内犬を飼うことにしました。しかし、この誓約書はすぐに破棄され、今では散歩からおしこの世話まですべて私の仕事になっています。

ナナという名前は、7人目の家族（うちは子供4人の6人家族です）ということで名づけました。私の末娘は愛<sup>まな</sup>というのですが、最初のころは、犬と娘の名前を間違えて大変でした。「ナナ散歩に行こう」というと娘が間違えて出てきたり、「ナナ、ここはトイレじゃない」としかるつもりが、「まな、ここはトイレじゃない」と娘を犬あつかいしたりと、なぜこんなややこしい名前にしてしまったのか、ちょっと反省しています。ただ、ナナが来た頃は幼稚園児だった娘が小学生になり、今では犬のように外で元気に遊んでいるので、結局どちらでもよかったのかもしれません。

私はナナのしつけ担当でもありましたので、今でも私の言うことはよく聞きます（娘は言うことを聞きません）。私の性格的に、我を忘れてかわいがるということもあまりしないのですが、家にいると私の後をずっとついてきたり、仕事で疲れて帰ってくると喜んで飛びついてきたりと、毎日ナナに癒されています。しかし、ナナが本当に好きなのはけっして怒らない義理の母で、義理の母が帰るときは、さみしさのためか何とも切ない声

で鳴くのです。私が朝仕事に出かけるときも鳴くのですが、鳴くというよりも吠えており、たぶん朝の散歩に連れて行けと怒っているのだと思います（最近では時間がなくて、散歩はもっぱら夜になっています）。



私とままとナナ

このような感じで、淡々とナナとの生活を楽しんでいます。私もナナもいつまでも元気に過ごしていきたいと思います。



きれいにカットしてもらいました



## 我が家のペット自慢

文字数は1,000字以内とし、写真2枚（カラー掲載します）をお願いします。

※写真1枚は先生とペットの2ショット写真を頂けますようお願いいたします。

（原稿字数、写真数を超過する場合は調整をお願いする場合がございます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。）

### 【応募先】

〒680-8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会 会報編集委員会 宛て

TEL (0857) 27-5566 FAX (0857) 29-1578 Email : kouhou@tottori.med.or.jp



## 2011.3.11 あれから10年

米子市 たじま医院 但馬啓子

何かしら気配を感じ、父の部屋に行き、テレビを見ると津波の映像。これは現実？津波の向かう先の道路には車が走っている。2011年3月11日。

その年は、前年末大みそかから2011年正月にかけて、ここは大雪。車の立ち往生や大雪による被害もありました。大雪のため、私は正月に実家倉吉に帰ることもできなかったうえ、東日本大震災で憂いていた一人暮らしの倉吉の母も5月突然脳出血で倒れ亡くなり、いろいろなことがあった年でした。夏には、福島で息子が弦楽合奏で参加した全国高等学校総合文化祭を見に行きました。ホテルと会場との往復だけで外出はなし。タクシーから見た外は人の歩いていない福島駅周辺、ブルーシートのかかった校庭。

2年前東北旅行をしたとき、松島観光を終え仙

台駅に向かう途中、観光タクシーの運転手さんにもここも寄ってもらえますかと案内されました。津波で何もかも無くなり今も帰宅困難地で住宅の基礎だけ残った殺風景な浜辺と、この校舎に住民が集まり、助かったという荒浜小学校。時が止まったままの風景でした。仙台駅で運転手さんに、“遠い鳥取県からこれからも応援します”と言って別れました。

鳥取マラソンは3月に行われます。福島で買った絆Tシャツを着て夫の応援をします。今年も大会中止だったので、Tシャツを着て錦海団地の周りを走りました。忘れてないよ！

2011.3.11その日から、当院でも何かできることはないかと職員と相談し、予防接種と健診の人数に応じて、日本赤十字社を通して毎月義援金を



荒浜地区



荒浜小学校





10年間送りました。しかし、この義援金も3月で終了しました。10年の区切りとのことですが、原発事故もあり、まだ復興の半ばです。これからの10年も忘れないよ、何かしらできることをしていきたいと思います。大したことはできません。3.11に関しても詳しくはありません。しかし、忘れずに心に留めておくことはできます。またいつか東北旅行をし、東日本大震災の後をこの目で

見てきたいと思います。

コロナで大変な世の中。地震の時もそうでしたが、いつ何が起こるかわかりません。私は大腸がんで手術入院した時、ゴールを意識しました。今やらなければいけないこと今できることは、明日に延ばさずに、今日を生きる。

早く平和な世の中になりますように!!



鳥取マラソン



絆Tシャツ

## 感染症情報について

日本医師会等からの感染症に関する通知は、鳥取県医師会ホームページの「感染症情報」へ掲載しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

鳥取県医師会ホームページ『感染症情報』

<https://www.tottori.med.or.jp/kansenshou>





広報委員 松田 裕之

7月7日小暑、東京オリンピック・パラリンピック開催間近、政府は東京都に4度目の新型コロナウイルス緊急事態宣言を発令する方針を固めた由、一方で、自治体によってはワクチン供給減に伴う接種制限・予約受付停止の動きもみられ、コロナ禍の出口はまだまだ先のようです。

東部医師会では、6月26日に第10回定例代議員会を開催しました。松浦喜房前会長は退任され、石谷暢男新会長が選任されました。

8月の行事予定です。

6日 第1回かかりつけ医認知症対応力向上研修会

[CC:10 (0.5単位), 29 (1.0単位)]

「認知症の本人とともに暮らしやすい鳥取市を創る」

鳥取市福祉部長寿社会課 認知症地

域支援推進員 金谷佳寿子氏

保健師 福本奈々美氏

10日 理事会

24日 理事会

会報編集委員会

※カリキュラムコード(CC)、単位が分かるもののみ記載しております。

6月の主な行事です。

2日 東部地域脳卒中医療連携ネットワーク研究会 第37回合同症例検討会

東部地区在宅医療介護連携推進協議会

4日 鳥取県東部医師会認知症研究会 第57回症例検討会

8日 理事会

9日 第27回東部喘息死をゼロにする会

「もう迷わない!喘息最新知見をふまえたこれからのCOPD治療戦略」

東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 呼吸器内科学分野

准教授 玉田 勉先生

15日 第570回鳥取県東部医師会胃疾患研究会

16日 第542回鳥取県東部小児科医会例会

18日 鳥取県東部消化器フォーラム

「COX2選択的阻害薬における消化管粘膜障害の当院の事例」

鳥取県立中央病院 消化器内科

副医長 岡田智之先生

「GERD診療ガイドライン~2021年改訂版のポイントを解説する~」

兵庫県立姫路循環器病センター院長・製鉄記念広畑病院病院長 木下芳一先生

22日 理事会

会報編集委員会

23日 鳥取県東部医師会学術講演会

「適正な不眠症治療法—4つのステップ—」

久留米大学 学長 神経精神医学講座

内村直尚先生

26日 第10回鳥取県東部医師会定例代議員会

広報委員 森 廣 敬 一

インド由来の新型コロナウイルスデルタ株の感染者が6月30日、鳥取県内でも初めて確認されました。感染力が強い英国由来のアルファ株よりさらに感染力が強く、全世界で猛威を振るい始めた変異株です。デルタ株は全国各地で確認され、オリンピック開催時には現在主流のアルファ株から置き換わると予測されています。7月中に東京都内で1日当たりのデルタ株の感染者数が千人を超え、その後2千人まで増加しうるとマスコミはやたら恐怖感をあおっています。感染すると症状はどう違うのか、致死率はどうなのかという医学的報道は全くありません。尾身会長も「オリンピックを今の状況でやるのは普通ではない」と発言されました。科学者の立場とよく言われますが、科学者の言う「普通」とは何なのかと疑います。マスクはどの程度感染防止効果があるとか、素材は何が良いとか、また飲食店のアクリル板の大きさはどの位必要なのかなど具体的なデータを示されることがなく、いつも感覚的な発言で納得させられている気がします。今回も恐い恐いだけでは国民は納得しないと思います。ただ英国はロックダウンと迅速なワクチン接種で感染者を激減させましたが、デルタ株のために再び患者が急増しているのは事実のようです。デルタ株は2回のワクチン接種で防御できますが、1回だけだと防御効果は不十分だそうで、英国でも2回目の接種を受けてない人が多いそうです。日本のワクチン接種は開始こそ遅かったもののオリンピックを意識して菅首相のリーダーシップで例が無い程スピーディーで効率的、または効果的な接種の普及作戦が奏功していましたが、ここに来て期待された職場接種の申請が停止となったのが心配です。オリンピックのボランティアの方々への接種も間に合

わない可能性があるそうです。しばらくはワクチン接種の速さとデルタ株の拡大の競争になりそうです。

平井知事は6月20日の9都道府県の緊急事態宣言解除で人が動き始め、宣言解除が県内流入のきっかけになった可能性があるとは指摘されました。さらに第5波に入ったとの認識の下、徹底した感染防止対策、感染拡大抑制のために動いていかなければならないと危機感を示されています。

8月の行事予定です。

- 2日 定例理事会
- 4日 定例常会
  - 「炎症性腸疾患 最近の話題を中心に」
  - 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
  - 三朝地域医療支援寄付講座 助教
  - 三朝温泉病院内科医師
  - 井口俊博先生
- 5日 消化器がん検診症例検討会
  - [CC: 2 (0.5単位), 9 (0.5単位)
  - 12 (0.5単位)]
- 16日 胸部疾患研究会・肺癌検診症例検討会
  - [CC: 1 (0.5単位), 2 (0.5単位)
  - 11 (0.5単位)]
- 18日 くらよし喫煙問題研究会

※カリキュラムコード (CC)、単位が分かるもののみ記載しております。

6月の活動報告を致します。

- 1日 講演会 (WEB配信)
  - 「心不全サポートチームの取り組みについて」

鳥取県立厚生病院 集中治療室 看護師  
長 集中ケア認定看護師 前田仁美先生  
「リバースモデリングを考える」  
東京女子医科大学東医療センター 心臓  
血管診療部 講師 重城健太郎先生

2日 講演会（WEB配信）  
「弁膜症手術のup to date ～大動脈弁手  
術、僧帽弁手術のいま～」  
鳥取大学医学部附属病院 心臓血管外科  
助教 大野原岳史先生  
総務会

7日 定例理事会

16日 くらよし喫煙問題研究会  
講演会（WEB配信）  
「糖尿病患者の脂質異常症」  
鳥取県立厚生病院 内科  
部長 村脇あゆみ先生  
「高TG血症と冠動脈疾患」  
鳥取県立厚生病院 循環器内科  
部長 澤口正彦先生

17日 定例常会

「高齢者の腎機能を考慮した抗血栓療法戦  
略」  
森山記念病院 循環器内科  
循環器センター長 清末有宏先生

21日 胸部疾患研究会・肺癌検診症例検討会

22日 講演会（WEB配信）  
「PCIにおける抗血栓療法2021」  
倉敷中央病院 循環器内科  
主任部長 門田一繁先生

23日 会報委員会  
第45回鳥取県中部肝疾患セミナー  
「トルバプタンから始まる領域展開」  
出雲市立総合医療センター  
院長 佐藤秀一先生

24日 講演会  
「炎症・免疫コントロールとPRO改善の  
マリアージュ～Patient Background &  
Evaluation Indexを考慮した臨床試験の紐  
解き方～」  
社会医療法人愛仁会井上病院  
副院長 佐藤宗彦先生



#### 広報委員 仲村広毅

ジャマイカチームのオリンピック事前合宿が中止となり（パラ選手は協議中）、開催時期を遅くして（8月末）検討されていた皆生のトライアスロンも2年連続の中止が決定となりました。何とか第4波も収束しつつあると思ったところですが、東京などではすでに次の波と思われる兆しがみられ、7月8日、4回目の緊急事態宣言の発令が決定されました。1年前のこのコーナーで、会議やイベントが軒並み中止や延期に追い込まれていることを書きましたが、その代替手段としてオンラインによる会議や、イベント、施設での面

会等々 IT技術を駆使した情報交換も当たり前となってきました。オンライン診療もまたその一つでしょう（まだまだどこまで一般的になるかわかりませんが、時々ダイレクトメールやFAX広告が届きます）。西部地区では今年の3月頃に鳥取大学医学部附属病院から11月をもって紹介予約は完全オンライン制に移行する案内が発表されました。しかし、診療所レベルでは対応が追い付かず早期の完全移行は困難なため、しばらくはFAX予約を残していただくなど現在大学病院側と調整がなされているところです（いずれはすべての予

約がオンラインとなる日が来るのでしょうか……)。

この7月号が発刊される頃は、オリンピックの開催直前で盛り上がっているのでしょうか？ 或いは……。開催されたとしたら様々な立場の人たちの思いが交錯する、いろいろな意味で歴史に残るオリンピックになることは間違いなさそうです。

8月の行事予定です。

- 2日 常任理事会
- 6日 うつ病と不眠症研究会  
[CC：10 (0.5単位), 70 (0.5単位)]  
第四回 鳥腸の会  
[CC：7 (0.5単位), 15 (0.5単位)  
54 (0.5単位)]
- 19日 鳥取県臨床皮膚科医会学術講演会  
[CC：9 (0.5単位), 73 (0.5単位)]
- 23日 理事会  
第9回NINAI Meeting
- 25日 鳥取県臨床整形外科医会研修会  
[CC：15 (0.5単位), 61 (0.5単位)]
- 26日 Heart Failure Symposium in Tottori  
～心不全患者さんの将来を見据えて～  
[CC：19 (0.5単位), 42 (0.5単位)]
- 30日 鳥取県西部 地域密着Webセミナー  
[CC：12 (0.5単位), 30 (0.5単位)]

※カリキュラムコード (CC)、単位が分かるもののみ記載しております。

6月の活動報告をいたします。

- 2日 米子市胃・大腸がん検診報告会
- 3日 肝臓領域Webセミナー
- 4日 第492回山陰消化器研究会
- 8日 鳥取県西部医師会Webセミナー
- 10日 高血圧管理を考えるー減塩から治療までー
- 11日 パーキンソン病診療Web講演会
- 14日 常任理事会
- 15日 6月肝胆膵研究会
- 16日 鳥取県西部小児科医会6月例会 (第562回小児診療懇話会)
- 17日 鳥取県臨床皮膚科医会
- 21日 代議員会
- 22日 鳥取県西部医師会消化管研究会
- 25日 鳥取県西部抗凝固療法セミナー
- 28日 理事会
- 29日 腎性貧血の明日を考える会～HIF-PH阻害薬の適正使用に向けて～



広報委員 原田 省

7月に入り、蒸し暑い日が続いています。医師会の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

当院総合周産期母子医療センターは、7月1日で運営を開始してから15周年を迎えました。今後ハイリスク妊娠・出産、そして新生児集中治療

を担い、大学病院だからこそできる体制で母子を見守り続けてまいります。

それでは、鳥取大学医学部・附属病院の7月の動きについてご報告いたします。

## 鳥取県との連携を確認～新型コロナウイルス感染対策、医師養成の課題について～

6月12日（土）、鳥取大学医学部附属病院で、鳥取県と協議を行いました。

県からは新型コロナウイルス感染対策についてデルタ株への対応や、ワクチンの職域接種への医師や看護師の派遣要請があり、当院も協力して取り組むことで合意しました。

当院からは県に対し、医師養成に係る問題について要望を行いました。厚生省は鳥取県を医師多数県と分類していますが、現状は地域偏在と診療科の偏在が問題となっています。これは医師の必要数の算出方法に要因があるとの認識で、地域の実情に応じた専門医や地域枠数の見直しを求めました。平井知事は、全国知事会として厚生労働大



臣に医師確保対策に関する意見書を提出しており、今後も地域偏在や医学部定員数の問題解決に向けて国に求めていく方針を示しました。

## 75周年記念式典・記念講演会を挙行了しました

6月5日（土）、鳥取大学医学部の創立75周年を記念し、「<sup>けいおうかいらい</sup>継往開来～未来へ継ぐ～」<sup>(※1)</sup>と題して「75周年記念式典・記念講演会」を開催しました。

医学部は1945年創立から昨年で75周年を迎えました。本式典は昨年度開催予定としておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を延期し、来場者の人数制限やオンライン配信を行うなど、感染対策を十分に講じた上での開催となりました。

中村廣繁学部長が式辞で「先人の事業を受け継ぎ発展させながら未来を切り開き、100周年に向け地域とともに発展させていきたい」と述べた後、ご来賓の方々から祝辞をいただきました。

引き続き行われた記念講演会では、各界ご活躍の先生方（本学部卒業生）にご講演いただき、来



記念講演会



主催側及び来賓による記念撮影

場者が熱心に耳を傾けると同時にその様子もオンライン配信されました。

この日の式典等を通じて、鳥取大学医学部75年の歩みを振り返り、出席者及びオンライン視聴者とともに創立75周年を祝いました。

(※1) 継往開来：先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くこと

### 治験貢献に関する表彰式を行いました

当院では、治験に対する理解と教職員の意識を高め、治験の活性化を目的に「治験貢献賞」の表彰を実施しております。治験の受託件数、実施率、達成率など積極的に取り組んだ個人、診療科、部門を対象としており、令和2年度は下記のとおり決まりました。



受賞者に表彰状と副賞が手渡されました

### 【令和2年度 治験貢献賞】

- ・呼吸器内科 阪本智宏 助教
- ・診療支援技術部チーム  
(代表：山下栄二郎 部長)
- ・脳神経内科チーム (代表：花鳥律子 教授)

### 広報誌「カニジル」号外を発行

当院では、病院長の諮問に応じて審議を行い、提言する「病院運営諮問会議」を開催しています。本会議では、多様な視点からのご意見をいただくため、伊木隆司米子市長をはじめ、吉村泰典元内閣官房参与、島津製作所の中本晃会長、占部まり医師、北野博也名誉教授、そして吉本興業の大崎洋会長など、各界を牽引する識者に参加いただいております。

去る2月の会議では、「地方創生と大学病院の役割」というテーマで、当院の利点や課題、進むべき方向性等について貴重なご意見、提言をいただきました。このたびの会議内容を「カニジル号外」としてまとめ7月に発行いたしました。今後の当院の展望を発信しておりますので、ぜひご一読ください。



# 日本医師会生涯教育カリキュラム〈2016〉（一覧表）

## カリキュラムコード（略称：CC）

1	医師のプロフェッショナリズム
2	医療倫理：臨床倫理
3	医療倫理：研究倫理と生命倫理
4	医師－患者関係とコミュニケーション
5	心理社会的アプローチ
6	医療制度と法律
7	医療の質と安全
8	感染対策
9	医療情報
10	チーム医療
11	予防と保健
12	地域医療
13	医療と介護および福祉の連携
14	災害医療
15	臨床問題解決のプロセス
16	ショック
17	急性中毒
18	全身倦怠感
19	身体機能の低下
20	不眠
21	食欲不振
22	体重減少・るい瘦
23	体重増加・肥満
24	浮腫
25	リンパ節腫脹
26	発疹
27	黄疸
28	発熱
29	認知能の障害
30	頭痛
31	めまい
32	意識障害
33	失神
34	言語障害
35	けいれん発作
36	視力障害、視野狭窄
37	目の充血
38	聴覚障害
39	鼻漏・鼻閉
40	鼻出血
41	嗄声
42	胸痛

43	動悸
44	心肺停止
45	呼吸困難
46	咳・痰
47	誤嚥
48	誤飲
49	嚥下困難
50	吐血・下血
51	嘔気・嘔吐
52	胸やけ
53	腹痛
54	便通異常（下痢、便秘）
55	肛門・会陰部痛
56	熱傷
57	外傷
58	褥瘡
59	背部痛
60	腰痛
61	関節痛
62	歩行障害
63	四肢のしびれ
64	肉眼的血尿
65	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
66	乏尿・尿閉
67	多尿
68	精神科領域の救急
69	不安
70	気分の障害（うつ）
71	流・早産および満期産
72	成長・発達の障害
73	慢性疾患・複合疾患の管理
74	高血圧症
75	脂質異常症
76	糖尿病
77	骨粗鬆症
78	脳血管障害後遺症
79	気管支喘息
80	在宅医療
81	終末期のケア
82	生活習慣
83	相補・代替医療（漢方医療を含む）
0	その他



# 6月

# 県医・会議メモ

- 3日(木) 監事会〈県医〉
- ♪ 新型コロナウイルスワクチン接種にかかる県と医師会との協議会〈テレビ会議〉
  - ♪ 第3回理事会〈県医〉
- 4日(金) 第11回新型コロナウイルス対策医療提供体制検討プロジェクト会議〈テレビ会議〉
- 5日(土) 鳥取大学医学部75周年記念式典・記念講演会〈ANAクラウンプラザ米子・オンライン〉
- 10日(木) 第1回全国メディカルコントロール協議会連絡会〈Web〉
- 11日(金) 第4回鳥取県新型コロナウイルスワクチン接種体制協議会〈県庁・テレビ会議〉
- ♪ 鳥取県臓器・アイバンク理事会〈テレビ会議〉
  - ♪ 鳥取県医療勤務環境改善支援センター研修会〈Web〉
- 13日(日) 鳥取県医学会〈倉吉未来中心〉
- 17日(木) 第2回常任理事会〈県医〉
- 18日(金) 鳥取県新型コロナウイルスワクチン職域接種に関する説明会〈テレビ会議〉
- 19日(土) 第205回定例代議員会〈県医〉
- ♪ 会員総会〈県医〉
- 21日(月) 第1回鳥取大学経営協議会〈オンライン〉
- 26日(土) 日本医師会議事運営委員会〈Web〉
- 27日(日) 第149回日本医師会定例代議員会〈Web〉
- ♪ 中国四国医師会連合常任委員会〈Web〉
- 29日(火) 鳥取県臓器・アイバンク評議員会〈テレビ会議〉

※6月の公開健康講座〈県医〉は中止しました。

## 医療機関の禁煙化にご協力下さい。

本会では、禁煙化の促進を図っております。

会員各位の医療機関におかれても、まだ禁煙対策を講じられていないところは、医療機関の禁煙化にご協力をお願い申し上げます。また、産業医の方は、受動喫煙の防止、事業所内の禁煙化をご指導下さるよう併せてお願いいたします。

\*日本医師会ホームページ「禁煙推進活動」(<http://www.med.or.jp/people/nonsmoking/000004.html>)より、『当院は禁煙です(No.124)』などのチラシをダウンロードすることができます。



## 会員消息

### 〈入会〉

網谷 亮汰	山陰労災病院	03. 4. 1
飯田 真吾	山陰労災病院	03. 4. 1
土生奈菜子	山陰労災病院	03. 4. 1
竹田 未来	山陰労災病院	03. 4. 1
乾 妃那	山陰労災病院	03. 4. 1
濱江弘太郎	鳥取生協病院	03. 5. 27
岸本 悠暉	鳥取生協病院	03. 5. 27
山藤 由明	鳥取県保健事業団総合保健センター	03. 6. 1
難波 範行	鳥取大学医学部	03. 7. 1

### 〈退会〉

細田 千佳	鳥取県立総合療育センター	03. 3. 31
-------	--------------	-----------

澤田慎太郎	藤井たけちか内科	03. 4. 30
山藤 由明	鳥取県保健事業団西部健康管理センター	03. 5. 31

### 〈異動〉

	たけうち耳鼻いんこう科 (個人)	
医療法人くすの木	たけうち耳鼻いんこう科(法人化)	03. 6. 1
	↓	
	きむら小児科	
木村 浩	自宅会員	03. 6. 1
	↓	
	吉田つばさ 鳥取市立病院	
竹安つばさ	竹安つばさ 鳥取県立中央病院	03. 7. 1
	↓	
	ながい麻酔科クリニック	
多喜 小夜	博愛病院	03. 7. 1

## 会員数

### ■鳥取県医師会会員数 (令和3年7月1日現在)

	東部	中部	西部	大学	合計
A1	149	71	191	0	411
A2	7	1	12	1	21
B	425	161	350	65	1,001
合計	581	233	553	66	1,433

A1 = 私的医療機関の開設者又は管理者である医師  
A2 = 公的医療機関の管理者である医師  
B = 上記以外の医師

### ■日本医師会会員数 (令和3年7月1日現在)

	東部	中部	西部	大学	合計
A1	138	67	176	0	381
A2(B)	44	33	73	3	153
A2(C)	16	0	3	0	19
B	73	26	69	3	171
C	9	1	0	0	10
合計	280	127	321	6	734

A1 = 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員  
A2(B) = 上記A1会員およびA2会員(C)以外の会員  
A2(C) = 医師法に基づく研修医  
B = 日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請したC会員以外の会員  
C = 医師法に基づく研修医のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

## 保険医療機関の登録指定、廃止等

### 保険医療機関

井上クリニック	米子市		03. 5. 31	廃止
きむら小児科	米子市		03. 5. 31	廃止
たけうち耳鼻いんこう科	鳥取市		03. 5. 31	廃止
たけうち耳鼻いんこう科（法人化）	鳥取市		03. 6. 1	新規
みらい内科クリニック	倉吉市		03. 7. 1	新規

### 生活保護法による医療機関

よなご脳神経クリニック	米子市	10497	03. 4. 30	廃止
ささ木在宅ケアクリニック	米子市	10499	03. 4. 30	廃止
武本クリニック	米子市	10501	03. 4. 30	廃止
よなご脳神経クリニック（法人化）	米子市	10518	03. 5. 1	指定
ささ木在宅ケアクリニック（法人化）	米子市	10516	03. 5. 1	指定
武本クリニック（法人化）	米子市	10517	03. 5. 1	指定

健康保険法の指定更新時には、併せて生活保護法の指定医療機関の更新手続きも忘れずに行ってください。

### 感染症法の規定による結核指定医療機関

ささ木在宅ケアクリニック	米子市		03. 5. 1	指定
井上クリニック	米子市		03. 5. 31	辞退
武本クリニック	米子市		03. 4. 30	辞退
武本クリニック（法人化）	米子市		03. 5. 1	指定

### 原子爆弾被爆者一般疾病医療機関

ささ木在宅ケアクリニック	米子市		03. 5. 1	指定
武本クリニック	米子市		03. 4. 30	辞退
武本クリニック（法人化）	米子市		03. 5. 1	指定

## ～お知らせ～

鳥取県医師会館（鳥取県健康会館）は、次のとおり休館します。

[休館] 令和3年8月13日（金）～令和3年8月15日（日）

[緊急時の連絡先] 谷口事務局長 TEL(自宅) 0857-53-1655 TEL(携帯) 090-3171-4915

鳥 取 県 医 師 会  
鳥 取 県 医 師 国 保 組 合  
鳥 取 県 健 康 対 策 協 議 会  
鳥取県医療勤務環境改善支援センター



7月に入り活発な梅雨前線の影響で、また今年も日本各地に線状降水帯が形成され豪雨をもたらしています。3日には熱海市で土石流災害が発生しました。TVニュースでみた映像は、全く恐ろしいとしか形容できません。犠牲者のご冥福をお祈りします。鳥取県においても7日には、わずか半日で7月一か月分を超える記録的大雨となり、鳥取市の一部では市内を流れる清水川があふれ、警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令されました。8日以降も雨は続く見込みであり、この上さらに土砂災害や河川の氾濫などが起きないことをまさに天に祈るばかりです。

巻頭言では太田匡彦理事が「新型コロナウイルスワクチン接種 普及への加速化に積極的な協力を！」と題し、今後さらに地域住民へ幅広く円滑にワクチン接種を普及させるためには、県・地区医師会を中心に献身的な尽力が重要と述べられています。全く異論はありません。新型コロナウイルス感染症もワクチンで防げる病気（VPD：Vaccine Preventable Diseases）となるはずです。

6月19日「公益社団法人鳥取県医師会第205回定例代議員会」は、出席代議員47名（総数49名）で成立し、第1号～第4号議案まで原案通り可決されたことを報告します。引き続き「令和3年度鳥取県医師会会員総会」が開催され、会員表彰が行われました。当日ご出席の伊藤文利先生（米寿）、田村矩章先生（喜寿）、根津 勝先生（永年役員）の先生方が、渡辺会長より表彰されました。続いて廣岡理事の座長により、第30回鳥取医

学賞受賞講演（受賞者：大石正博、孝田雅彦両先生）、第8回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞講演（受賞者：小林裕貴子先生）が行われました。（鳥取県医師会長表彰の被表彰者名簿は会報p.13に掲載）最後は渡辺会長が座長を務め、「継往開来！ 創立75周年 鳥取大学医学部は次のステージへ」と題した鳥取大学医学部長 中村廣繁先生の特別講演を賜り、閉会となりました。

6月1日から新規患者数ゼロを続けていた鳥取県においても6月28日新規患者発生、翌29日には恐れていたデルタ株によるクラスターが発生し、東部には鳥取県版新型コロナ警報が、中部・西部には注意報が発令となり、感染第5波も懸念されます。また感染の再拡大が続く東京都には、4回目の緊急事態宣言が発令される見込みです。一方われわれ医療関係者にとって新型コロナウイルス感染症対策の盾ともなりうるワクチン接種については、県内でも7月1日から職域接種が始まりました。しかし全国的に、ワクチン供給不足から職域接種の新規申請は、政府によりストップさせられたままです。太田先生が巻頭言で述べられた「集団免疫獲得の基準人口である国民割合70%」に早期に到達するためには、人口という尺度だけで判断するのではなく、鳥取県のように接種体制が確立し、すでに実績があり、行政と医師会とが良好な協力体制を構築できている県にこそ必要なワクチンを供給していただきたいものです。

編集委員 岡田 隆 好

鳥取県医師会報の全文は、鳥取県医師会ホームページでもご覧頂けます。

<https://www.tottori.med.or.jp/>

鳥取県医師会報 第793号・令和3年7月15日発行（毎月1回15日発行）

会報編集委員会：小林 哲・辻田哲朗・太田匡彦・岡田隆好・武信順子  
中安弘幸・山根弘次・宍戸英俊・懸樋英一

●発行者 公益社団法人 鳥取県医師会 ●編集発行人 渡辺 憲 ●印刷 今井印刷(株)

〒680-8585 鳥取市戎町317番地 TEL 0857-27-5566 FAX 0857-29-1578  
E-mail : kenishikai@tottori.med.or.jp URL : <https://www.tottori.med.or.jp/>

〒683-0103  
鳥取県米子市富益町8

定価 1部500円（但し、本会会員の購読料は会費に含まれています）